

黒の切り札亭 第2話「薬を求めて走れ！」

GM:さてみなさん、まずは自己紹介といきましょうー。

GM:まずはクライからどうぞー。

クライ:おう、一番かw

GM:はい、よろしくですー。

マキ:よろです

クライ:あー、クライ、だ。蛮族を蹴るのが仕事だ。よろしく。

GM:グラッププレーなんですねー

クライ:(プレイヤー発言) です。目標:真面目なプレイ お願いします

リン:(プレイヤー発言) 常識人がいる……つまり?

GM:>クライ はい。まあ、あまり硬くならなくて結構ですよー。

GM:>リン うむ、他は羽目を外してOKw

GM:まあ、あまり外しすぎるとGM涙目なんで、そんなことよろしくw

GM:ちなみにクライさん、年齢はいかほw?

クライ:(プレイヤー発言) そう言えば決めてませんでした じゃあ20代前半ぐらいとしよう

GM:りょうかい。以上でよろしいですかー?

クライ:(プレイヤー発言) はいー

GM:ぱちぱちぱちw

リン:(プレイヤー発言) わいわいがやがやー

GM:では、次はリンさんw

リン:「アタシはリネン・ドア。一緒に冒険した皆からはリンって呼ばれてるんだ!良かったら皆もリンって呼んでね。」

GM:わーい。ぱちぱちぱちw

マキ:バ。バ。バ。チー

リン:「この『黒の切り札亭』でも何度か仕事をしたことがあるけど、皆と一緒に仕事するのは初めてかな?」

GM:そうだなー、じゃあ面識はあるけど組んで仕事は初めてことw

GM:リンは唯一の前回参加者ですねw

リン:「この前の冒険の時はず」かったんだよー」

リン:「アタシの強さに、蛮族が泣いた」サw

GM:リン、硬いんだもん……

今回もそうだけど固定値使ってるのでちみっとしかあたらず、当たっても通らないw

マキ:つまりGMも泣いたとw

クロ:お疲れ様です。

リン:(プレイヤー発言) 以上でござい。目標知力⑨で全力全壊で行くでよろしくお願いします

クライ:(プレイヤー発言) ぱちぱちぱちぱちー

GM:はい、では次はマキちゃん

マキ:「マキと言います、皆さんと冒険するのははじめてですね、お願いします。」

マキ:(プレイヤー発言) テストプレイもしてないので火力不足かも^m

GM:いやー、後方から魔法ダメージだけで怖いですw

マキ:以上です

GM:りょうかーい。じゃあ最後はクロさん

クロ:「クロイス・ハーバート。略してクロです。」

クロ:「月神シーンの神官です。」

GM:シーンとな？魔法で暗視できるようになるのかー。

クロ:(プレイヤー発言) 今回がTRPGデビューなので空気になったり、何していいか分からなくなるかもしれません。よろしくお願いします。

マキ:わあーん。チン。チン。

クロ:「でもでも」

クライ:(プレイヤー発言) ぱちぱちぱちぱち

GM:>クロ 実は、ほとんどの方がプレイ初心者なのでご安心をw

リン:(プレイヤー発言) 常識ありそうなpのしか今のところいない……これは反動で

クロ:(プレイヤー発言) それはありがとうございます。

GM:かくいう俺も、リプレイ等は10年以上やってるが、オンラインGMはまだ今回が2回目だー

GM:オフ入れても4回田w

クロ:(プレイヤー発言) リプレイは結構読んでるので知識は多少はあります。

GM:なので、ちよつと進行が滞っても生暖かく見てくださるとたすかります(土下座)

マキ:(φωφ)

GM:では、セッションについてはまた後で。

セッションのプレイヤー(以下、P)は少し遅れて参加します。

クロ:了解です。

リン:(プレイヤー発言) ノリと勢いで4回乗り切ったし残念なPとして安定してきた？

GM:ではみなさんの置かれている状況を。

GM:「リ、シグノの街にある冒険者の店《黒の切り札亭》には一つの不文律がある。

GM:それは、「依頼に対してはその時々でパーティーを組む」というものだ。

GM:宿をとって居座る者もいれば、ふらりとか顔を見せない者もいる。もちろん、気の合つもの同士がつるむこともあるが、それとて、いつも同じ顔ぶれとは限らない。

GM:だが、いずれも店主のドワーフ、フォリッジに認められた者たちだ。腕と信用は確かで、街でも一田置かれている。

GM:……ぶっちゃけ、毎回同じPさんがそろつとは限らないという話なんですわ

クロ:(プレイヤー発言) まあ、しょうがないですよ。

クライ:(プレイヤー発言) オンラインではありますわ

GM:さて、みなさんはこの《黒の切り札亭》に所属する冒険者です。

1. 集う冒険者

GM:現在の時刻は夕方。店の中と外、どちらにいます？

リン:(プレイヤー発言) 10 振って奇数なら店内にいます！

GM:>リン OK、ダイスどうぞ

リン:1D6 合計:1<>

GM:フォリッジ「リン、今日は早いな(夕食トーン)」

リン:「いやー…お腹すいちゃって」/「パチパチ」

クロ:(プレイヤー発言) 自分もそれで

GM:>クロ ダイスどうぞ

クロ:1D6 合計:6<6>

GM:>クロ じゃあ外で。好きなタイミングで来てくれて構いませんよー

クロ:(プレイヤー発言) 分かりました。

GM:>マキ >クライ せっかくなんでお二人も1dできめましようか。ダイスどうぞー

マキ:1D6 合計:2<2>

マキ:(プレイヤー発言) そとですか

クライ:(プレイヤー発言) 了解ですー

クライ:1D6 合計:6<6>

クライ:(プレイヤー発言) 街をぶらぶら歩いているようです

GM:>マキ ですね。好きなタイミングで入ってきてくださいな

リン:「この前使ってた槍が持ちにくかったからでっかい盾買っついでに買い換えてみたんですよー。

あ、ウエイトレスさんお水のおかわりくださいなー」

GM:ウエイトレスの「クリス」はーい、リンちゃんまだ食べるの？」

リン:「今日はこれ食べて後タ」飯食べるだけだよー？」

GM:>リン クリス「…食べ過ぎ」お水をおいて厨房の奥に引っ込みます

クリスは第1話のPC。今回「PL」は不参加なのでNPCとして登場なのです。

クライ:「酒飲んでえな…」(ぶんぶん)

クライ:「そういやしばらく黒の切り札亭行ってねえな。顔出しとくか」(ぶんぶん)

クライ:「おーあの姉ちゃんいいケツしてんな」(ぶんぶん)

マキ:「こんにちはー」席の状態はどうなってます？

GM:>マキ フォリッジ「おお、マキか」結構あいてるよー

クロ:「そろそろ、夕飯にしよう。こんにちはー」

GM:>クロ 「クロも来たか。急に忙しくなってきたな」

リン:「そうなのかなー…むむむ、これもマスターの「飯がおいしいのが悪いんだよね、うん。……………」

ん。

マキ:席についてからエールを頼みます

GM:フォリッジ「おうよ」エールどうぞ…

マキ:「エールッ…飲まずには居られないッ…」

クライ:(プレイヤー発言) デ●オwww

クロ:カウンターについて「とりあえずおすすめど。」

マキ:「リンさん、こんにちは」

リン:「こんにちはー。マキさんはいきなりお酒か…」

GM:>クロ フォリッジ「そういやクロ」

ジロッシュト:(プレイヤー発言) ちとログ読んでますね

リン:(プレイヤー発言) 3行であらすじ！
自己紹介RPしてね！

店にいないかはHPで奇数ならお店にいてね！

薬草の依頼が2つあるよー！

水着の蛮族がいたよー！

クライ:(あ？ なんだ仕事の話してんのか。俺にも分け前よこせよ)

クロ:(プレイヤー発言) 蛮族関係ないwww

ジロッシュト:(プレイヤー発言) み、水着の蛮族……？

GM:(プレイヤー発言) >ジロッシュト 流してかまいませんw

クライ:(プレイヤー発言) 3行と言いなながら4行あります<>

ジロッシュト:ID6 合計:2 <>

ジロッシュト:偶数だから店にいないようだな

GM:>ジロッシュト じゃあ、すきなタイミングで合流していいですよー

リン:(プレイヤー発言) 言っではみたけど地理的な問題で行けるのかどうやらね。

GM:フォリッジ「まあ、探す素材はどちらも同じらしい。ただ、遠くの方が質がいいのと、ちと地理的に難所なんで報酬が多いんだとか」

クロ:「まあ、身入りのいい②かな？ほかに行く人いる？」

リン:「同じ素材なら一緒には受けられないのか？残念だなー」

GM:>クロ フオリッジ「マキとリンも連れて行ってやれwこのままじゃ生活苦しそうじゃw」

マキ:「チラチラ」

リン:「クロちゃんよろしくねー！クリスちゃんもいこーよー！」厨房に声をかけてみる

GM:>リン クリス「わたし、この後礼拝に行かなくちゃいけないの。ごめんね」

リン:(プレイヤー発言) ルロウドが礼拝……だと？

GM:(プレイヤー発言) >リン まあ、一応神官ですから。個人的にお祈り聞くとか。

クロ:「了解す(´▽`)皆よろしくね(´▽`)」

クライ:「俺にも聞かせろって。稼げる話なんだろ？」

クロ:「それなりのしぎだね」

GM:>クライ フオリッジ「ま、人数は多いに越したことなからう」

リン:「そっかー……誰か魔法使える人いないのかなー」

クロ:「俺は回復しかできん」

マキ:「どこかにソーサラーは居ないんでしょうか」

クライ:「殴って蹴ってりやどうにかなるんじゃない？」

クロ:「マスター、ソーサラーの知り合いいない？」

GM:フォリッジ「そっぴやジロッシュトの奴が今晚あたり顔出すと聞いてたな」

GM:フォリッジ「魔法使える奴はいた方がいいし、あいつのことだからきつと引き受けるだろうって」

GM:フォリッジ「来たからお前たちを追っかけるよう言っとくよ」

ジロッシュト:(プレイヤー発言) 皆がでかけた後にまったり合流しようかと思っているので、でかけておくんなまし。

リン:(プレイヤー発言) なるほど。ならば町を出歩くRPでもして性格を簡単に表現でも

ジロッシュト:(プレイヤー発言) ふむふむ、いやあ、当初考えていたのが少し重なるPCがいたの
で、少し考えているのですよね

リン:「あー！そっくだー保存食ないの？アタシ4日も我慢できないよー……」

クロ:「じゃ、ヘンドリックさんと」に交渉しに行きますかね。」
リン:「よーっしー！保存食のために早くヘンドリクス？さんにあいたいー」
マキ:「おーー」
クロ:「おーー」
クライ:(プレイヤー発言) 姉ちゃんのケツを追っかけるイケメンエルフだと……
クライ:「おー」(酒ぐびぐび)
GM:「じゃあ、①か②についてはヘンドリックさんに直接言ってね。」
リン:「あ、」飯おかわりー」
クロ:「すげー、食うのな」
GM:「まだ食うのかw フォリッジ」とっつと行って来いw」
GM:「ちなみにヘンドリックさんの施療院は下町の町はずれにあります。」
リン:「むー……帰って来たら豪華なのよーいっついでよねー」
GM:「フォリッジ」わかったわかった」
クロ:「では出発ー」
マキ:「それじゃあ、フォリッジさん行って来ます」
リン:(プレイヤー発言) 「」までキャラが濃ければ3回以降で出られなくてもGMがRPじゃすいはずーと思うてませんよ
GM:(プレイヤー発言) >リン お気づかいサンクスw
クライ:「じゃーな親父。生きてたらまた来るわ」
マキ:(プレイヤー発言) そういえば変態キャラがこのパーティには居ませんね
リン:「クリスちゃんお土産待ってねー」
GM:<クロ >マキ >クライ フォリッジ「おう、気を付けてな」
GM:<リン クリス」それより怪我しないようにねー」

2. <ヘンドリックの依頼

ジヨシント:「では、施療院の前でうろろろしてるエルフが一匹います。」
ジヨシント:「えーと、うーん、おかしいな。」でいいはずなんですけどね……」
ジヨシント:「でも道に迷っております。」
GM:「じゃあ、そのジヨシント合流と」
マキ:撃ちま
GM:<マキ 撃ちなw
クライ:蹴り
リン:「だいたいどーぶだよー……あたっ……」何もないういコケルー
GM:<リン >クライ お前w
クロ:「何探ってるの」
リン:「あー……ジヨシントちゃん遅刻だよー……まったくもー」
ジヨシント:「ああ、皆さん。すいません黒の切り札亭という酒場を探しているんですが、」でいいんのですよねっ」
GM:<ジヨシント 来たことなかったのかw
ジヨシント:「どうも看板が見つからなくて……」↑いえ、極度の方向音痴です
クライ:「違えよ。隣の通りだ」

クロ:「また、迷子か」

ジヨッシュ:「ああ、そうでしたかーなるほどごおりで道が違つと思ひました。それでは……」

ジヨッシュ:「まったく違つ方向の通りに向かいます」

マキ:「足元撃ちます」

ジヨッシュ:「ひああああー?」

マキ:「反対だよー!」

ジヨッシュ:「ええと、ネズミでもいました?」

GM:「じゃあそんな感じでじやれてると、施療院の中から」やかましいわー!」「とおじいさんの声がしますW

ジヨッシュ:「ああ、反対でしたか。なるほど……」今度は右に大きくそれていきます

クライ:「足払いをかけます」

ジヨッシュ:「あー!」

GM:「クロはヘンドリックさんの声だとわかるね。」

ジヨッシュ:「施療院の扉にぶつかります」

マキ:「無視しながら」かくかくしかじか

ジヨッシュ:「あれ?ええと」でいいんですかね?」

クライ:「兄ちゃんとりあえずそこ止まるとけや」

クロ:「すいません。ヘンドリックさん」(後ろは無視)

リン:「まったくもー。しょうがない人だなー……ちよつと行つてくるね?」風の翼使つてお姫様抱

ニジ 店までアコガ-

GM:「じゃあ、中からすらすらつとしたクールビューティーなルーンフォークが出てきて

クロ:「あれ?」

ジヨッシュ:「ええと、あなたが店の主人でしたっけ?おかしな顔が違つような……?」

GM:「もしかして、《黒の切り札亭》の方ですか?」と声をかけます

クロ:「はい、そうです。依頼を受けにきました。」

ジヨッシュ:「あれれ、あなたこそ《黒の切り札亭》の方ではない?んん、ボクは一体どこにいるんだろ?」

GM:「へクロ「そうですか、では中へお入りください」

クロ:「分かりました。ほら、君もくるんだ」

リン:「プレイヤー発言」ジヨッシュを店に運ぶか話を進めるかどっちにすればいいんだ……

まったくだ。

GM:「ジヨッシュ「リンはヘンドリックさんの施療院です。私は助手のソーニヤと言ひます」

GM:「ジヨッシュ、リンとジヨッシュも施療院の中に押し込みますW」

クライ:「リン戻つて!」それはエルフの兄ちゃんじゃなくて岩だ」空に向かつて」

ジヨッシュ:「ええでも、ボクは確か切り札亭に呼ばれていたわけで……うん。ここはヘンドリックさんの施療院?あれれ?」

リン:「うん……びよーん……」

クロ:「とりあえず、ヘンドリックさんの依頼をうけて終われば、切り札亭に行けるよ」

ジヨッシュ:「おお、なるほど。うん、ヘンドリックさんの依頼?なんですか、それは」

GM:「中には50代くらいの人間の老人がいますね。足に包帯を巻きつけてます。さつきから外が

騒がしかったんでやや仏頂面w

クロ:「おひさしぶりです。ヘンドリックさん」

リン:「謎はすべてとけたーっ！あなたがヘンドリクスさんだなっ！」サリ

ジヨシユ:「おお、そうだったのですねー！」

クロ:「なんか違うw」

マキ:「な、なんだっつー！」

GM:「ヘンドリック「スはいらん。5年ぶりじゃの、クロ」

ジヨシユ:「ええと、この人を倒せば『黒の切り札亭』にいけるっ？」

マキ:「おいやめろ」

GM:「ジヨシユ 倒そうとするならそつとソニーヤさんが割り込みますよ。」

クライ:「倒すな。傷つけずに脅して報酬を上げる」

クロ:「どうもその節はお世話になりました」お辞儀しながら外野無視

ジヨシユ:「いや、なんかまるで敵を見つけたようなリアクションだったので…。違うんですか？」

リン:「…ヘンドリーさん？アタシ達がきたからにはもう安心ですよ！泥舟に100人のつてもだ

つごよーぶすー」

ジヨシユ:「脅すっ？やはり敵なんですかっ？」

クロ:「だれか説明してあげてw」

ジヨシユ:「ええと、泥舟はいずれ沈むと思うんですよね」

マキ:「かくかくしかじか」

GM:「マキ ジヨシユへの説明サンクスw」

GM:「ヘンドリック「ま、冒険者たるもの、一般人とはど」かずれとるくらいがちょうどいいわい」

マキ:「(プレイヤー発言) わあ心広い。」

ジヨシユ:「ふむふむ、なんだ、この人がクライアントなんですね。早くそいつってくださーいよ」

クロ:「ははは…」(苦笑)

GM:「ヘンドリック「さて、お前たちが集団で来たということとは、依頼を引き受けてくれると解釈してどうなのか？」」

リン:「くらいあんたとジヤイアントアトって似てるよねーっ」

クライ:「似てねえよ」

ジヨシユ:「いえ、類似点はアトトしかありませんよ。」

マキ:「依頼内容H…」

クロ:「依頼は引き受けます」

GM:「ヘンドリック「無視して」この通り足を折ってしまったの。薬の在庫がいささか心許ないんじゃ」

ジヨシユ:「それくらいなら、薬草を卸している店に買い付ければいいんじゃないでしょうか？」

GM:「幸い、ある程度は馴染みの商人から降ろしてもらったのじゃが、どうしても3種足りなく
PS」

ジヨシユ:「なるほど、在庫切れですか」

クロ:「薬草はどれくらいとつてくれればいいんですか？」

ジヨシユ:「ヘンドリック「いや、つぎ魔法での治療依頼かと」

GM:「わしは魔法は嫌いじゃー」ヘンドリックさんは魔法嫌いのようです。」

クライ:「偏屈なジジイだな」

リン:「アタシは魔法使えないからだいじょーぶだよー」

ジヨシユ:「あゝボク魔導師なんですけど…っ」

GM:「まあ、魔法を使う人間まで嫌いなわけじゃないんです。」

ジジジ：ほうほう、魔法で安易に治すのが反対なのかな

リン：(プレイヤー発言) 「うう…業種的にもね？魔法であっさり直されるとね？」

GM：はい。他の人が使う分には文句言わないんですけどね。

GM：それでも神殿で魔法使うより安く怪我人や病人を見てあげるので、街の人や子どもたちに人気があるそうです。

リン：「ばりんーろいしんーいそふらぼんー」

ジジジ：<リン> 「なんですか、その呪文は？」

マキ：「sin cos tan…」

リン：「前に読んだ」ほんに載ってたやくそー？」

ジジジ：「ほう、初めて聞く薬草ですね…。それがあればいいんですか」

GM：「違つわ。とってきてほしい薬草は三種。アカダケ・アオバナ・ミドリイシの三つじゃ」

クロ：「とりあえず薬草を3種類とつてくれればいいんですね？」

GM：<クロ> <ヘンドリック>「察しが良くて助かるの」

ジジジ：「ちなみにそれは、素人でも見分けがつくものなんですか？」

クライ：「なるほど、神殿の稼ぎを奪つてるジジイが神官に商売道具取つていって依頼してる構図か。なかなか面白いな」

いや、そんな根の暗い話じゃないはずだけど。

ジジジ：「ボクも多少は薬草の知識がありますが、見分けがつかますかねえ」

GM：「うむ、かなり強烈なおいを発するからの。近づけばすぐわかる」

リン：「アカアシクロダケ…ゲ●バナ…ミドリゴケ？大丈夫おぼえた！」

覚えられてない覚えられてない。しかもゲル●ナは違うゲームだ。

クライ：(プレイヤー発言) 「この先、生きのこれるのか(キャラの濃さ的な意味で)」

ジジジ：「それが自生している場所もはっきりしているんですか？」

リン：(プレイヤー発言) 本職レンジャーが「れじゃあもつ…」

GM：「いずれも大気や地中からマナを吸い取って繁殖するので、「こ」からだど2カ所位にしか生えとらん珍しいものなんじゃ」

GM：<ジジジ> わけで、【①近くの森(片道半日) 4日以内・報酬 1000G】【②遠くの森(片道2日) 7日以内・報酬 1200G】なわけです。

リン：「あれ？でも赤いキノコなら前におうちの裏に生えてたよーな…？」

ジジジ：「それは毒キノコでは？」

実際、キノコの90%以上は毒キノコだそうです。

ジジジ：「遠くの森にいつて、確実にとってきたほうが無難ですかねえ」

リン：「そーなの…？食べたおじさんがでっかくなってたから今度生えたらアタシが食べよーと思つたの…？」

クロ：「それはマ○オだ」

ジジジ：「でっかくなる？そんなキノコは聞いたことがありませんね。新種でしょうか…」

GM：断つとくけど、キノコなのはアカダケだけ。アオバナは青い花、ミドリイシは緑色の鉱石です。

クロ：「石って薬になるんですか？」

ジロジロ：「鉱物はすりつぶして薬になるんですよ」

クライ：「まずそつだな」

ジロジロ：「顔料などの素材にもなりますけどね」

GM：詳しくはこんな感じ。

- ・アカダケ：赤いキノコ。比較的陽当たりがよい地面で見つかりやすい。
- ・アオバナ：青い花。水上に咲いていることが多い。
- ・ミドリイシ：緑色の鉱石。陽のあたらないところで見つかりやすい。なぜかアンデットを呼び寄せることがある。

クロ：「へー、初めてしりました」

マキ：「むむ、遠くに行く上めんどくさそうなの性質は早めに出た方がいいんじゃないでしょうか」

ジロジロ：「アカダケとアオバナはまだしても、ミドリイシが厄介ですね」

リン：「じゃあミドリイシをクリスちゃんに持って帰ってあげないと！マスターには……おうちの裏のキノコでもいいぞ」

マキ：「クリスちゃんの命が危なくないですか」

クロ：「そうですね。明日の朝一にでもしようかと思っただのですが」

GM：あ、いずれも一個あれば向こう一か月はもつので、一つずつあれば十分です

ジロジロ：「まあ、在庫ぎれを起すなら少し多めにとってきて、薬問屋におろせば少しお金になるかもしれませんね」

GM：へ、ジロジロ、ヘンドリック、まあ、扱いがむずかしいから、買い取ってくれるかわからんがの」

ジロジロ：「そうなんですか、では後学のためにサンプルの採取にとめておきましょうか」

リン：「……でも顔にハックするんだよねー」

クロ：「はるか」

クライ：「顔料のことを言っているのか」

クロ：「顔に塗ったらすくくさそうですね」

リン：「プレイヤー発言（まあスポーブロックはさておいて。日当たりのにも夜間の採取はよろしくな）」

GM：さうわけで、①、②どちらにしますか。

クロ：「プレイヤー発言（当初のよていどおり②でどうかと）」

リン：「とーぜん遠くだよっ！近くは残しておいてあげないとねー」

クライ：「プレイヤー発言（②で良いと思いますー）」

マキ：へGM 野宿野宿のための道具など必要ですか？

GM：へンドリック「わしの使ってるテントでよければ貸してやる」

ジロジロ：「あとは食料とか水の準備ですかね」

クロ：「そのことで相談が」

クライ：「もちろん報酬とは別だよな」

リン：「そつだったー！マスターが保存食はヘンドリーさんに出してもらえってー……」

GM：ヘンドリック「仕方ないのう。じゃあ、一週間ぶんだけなら出してやろう。味は保証せんが」

ジロジロ：「ほう、そつなんですか。それは有難い」

クロ：「薬くさそうですが」

クライ：「腹に入ったらみんな同じだろ。気にしねえ」

クロ：「豪快ですね」

GM:「ヘンドリック」それくらい我慢せい」特に付加効果はないです。

クロ:(プレイヤー発言) では②のほうでいいですか？

マキ:(プレイヤー発言) 異論なし」

クライ:(プレイヤー発言) OKですー

ジヨッシュ:(プレイヤー発言) それでいきますしよっか

リン:(プレイヤー発言) うむす。話が進むぎりぎりのRPが目標である。

GM:「じゃあ、②ね。」

クロ:「では、ヘンドリックさん②でお願いします」

GM:「ヘンドリック」わかった。ソーニヤ、地図と保存食渡してやれ」

GM:「みなさん、保存食増やしとじてください。」

マキ:(プレイヤー発言) 編集完了ッ！

リン:(プレイヤー発言) 食へ終わりました。

GM:「リン」(プレイヤー発言) くっなーWW

ジヨッシュ:「さて、それではいきますしよっか」といいつつ、治療院の奥の扉を開けようとしていたりします。

クライ:(プレイヤー発言) この保存食を作ったのは誰だあッ！

クロ:ジヨッシュの襟首をひつつかんで引きずってきます「「「「「」」」」」

GM:「もう夕暮れ時なんで、ソーニヤが皆さんを外にお送りします。」お帰りはあちらです」

ジヨッシュ:「あれ、そっちでしたか？おかしいなあ……」

マキ:「もうこれ方向音痴ってレベルじゃないですよね」

クライ:「誰か抱えて運べよもう」

クロ:「方位磁石を買うことを勧めます」

ジヨッシュ:「いやあ、方角はわかるんですよ。分かるんですがなぜか違う場所に向かっているんですよ」

すよね」

リン:(プレイヤー発言) そしてまだ誰もジヨッシュの名前を知らないという衝撃の展開

ジヨッシュ:(プレイヤー発言) そっいえば、そのようなあ……

クライ:(プレイヤー発言) 自己紹介された覚えが無いですよw

マキ:(プレイヤー発言) 忘れていたッ！

リン:(プレイヤー発言) 面白いので道中夜までスルー

クロ:(プレイヤー発言) 切り札亭にきたことはあるんですよ？

ジヨッシュ:(プレイヤー発言) あるみたいです

リン:(プレイヤー発言) もう店に帰るまで名前知らないままでもいいんじゃないかな

GM:「じゃあ、ジヨッシュは物忘れがひどく、二、三年ほどは切り札亭にも来てなかったんで、みんな話だけ聞いてたけど合うのは初めて、ってこと」

ジヨッシュ:(プレイヤー発言) うん、それでいいかんじがする

リン:(プレイヤー発言) エンディングが賑やかになるし。生きてれば

ジヨッシュ:(プレイヤー発言) そだね、生きてれば

これが、まさかラストへの伏線になるとは、この時点ではだれも思わなかった。

3. 探索開始！馬、借りる？

GM:では仕切りなおして。GMよりアドバイス。

リン:GM?武器や防具は装備しなければ意味がないぞ!

GM:そうじゃなくて。遠くの森までは斥道2日。依頼日数は7日以内。

シモンズH:探索日数は3日まで、ですね

GM:はい。ですが、ライダーギルドなどで馬を借りれば道程を半分にできます。

シモンズH:馬しておいくらでしたっけ?

GM:250Gだったかと

シモンズH:少々お高いですね

リン:(プレイヤー発言) うむす。

クロ:(プレイヤー発言) はい。財布をひっくり返しましょう

シモンズH:どうしましょうか?2日ほど探索日数増えますが

GM:往復の道程ではイベントなどはない予定ですが、7日を「える」とミッション失敗となります

マキ:(プレイヤー発言) 15G足りないw

シモンズH:<マキ 貸しましょうか?

クロ:(プレイヤー発言) 俺、5000あります

GM:ーc

マキ:ーc

クロ:(プレイヤー発言) まちがえた。500でした

リン:(プレイヤー発言) キャリッジじゃないと全員乗れないのですけどね

クライ:(プレイヤー発言) 確実にいきたいですねー

シモンズH:(プレイヤー発言) ボクは800あります

GM:なお、フォリッジさんに借金もできます。300Gが上限ですが。

クライ:(プレイヤー発言) 670ありますー

シモンズH:(プレイヤー発言) とりあえずマキさんの分はボクが立て替えます

マキ:(プレイヤー発言) 了解、メモしました

クロ:(プレイヤー発言) リンさんは大丈夫ですか?

クライ:(プレイヤー発言) 足りない人いたら貸しますよー

リン:(プレイヤー発言) 報酬一人頭240しか入らないのにレンタルするのか…

GM:<リン あ、うめん。一人1200G

シモンズH:(プレイヤー発言) 命がけの仕事で240は切ないw

クロ:(プレイヤー発言) やってらんないレベル

クライ:(プレイヤー発言) 天然かw天然なのかw

GM:馬車(キャリッジ)なら2000Gでレンタルできます。5人乗り

シモンズH:(プレイヤー発言) 馬車はちと高いですね。一人一頭でいいか

GM:じゃあ、馬借りるのね?

シモンズH:(プレイヤー発言) では馬を借りて移動で

クロ:(プレイヤー発言) ですね

リン:(プレイヤー発言) いやな予感しかしない…

GM:じゃあ、お金のやり取りはPM間でよろしく。

クロ:(プレイヤー発言) リンさんのぶん立て替えます?

クライ:(プレイヤー発言) 50G~50Gはらんかえ~ 何もしませんよw

リン:(プレイヤー発言) 誰か適当にお願いー?

リン：(プレイヤー発言) リンはさいふをひっくりかえした。しかしなにもみつからなかった！
クライ：(プレイヤー発言) 冗談は置いて、リンさんの分は自分が出します。
GM：じゃあ、森につきました。ここまで1日。残り6日ね。

クロ：「では、探索しましょう」

リン：(プレイヤー発言)留めていた馬がアンデッドに食われたとかやめてくださいしないでしまします。
GM：それは大丈夫w

クロ：(プレイヤー発言) 深読みしすぎではw

リン：(プレイヤー発言) 普通にありえる展開では…まあ何もおきなくてよかった。

ジヨッシュュ：(プレイヤー発言) まあ、そこまでやると意地悪すぎますなw

GM：ただ、馬は森の外に止めといてください

GM：茂ってかえって遅くなりますので

クロ：(プレイヤー発言) 実質、番で一人入りますからね

クライ：(プレイヤー発言) 〇日後、そこには野生化して手の付けられなくなった元気な馬達の姿が！

リン：(プレイヤー発言) 馬をレンタルすると食われて報酬じゃ払いきれなくなる分、迷宮でお宝がーなシナリオに進化するのです

ジヨッシュュ：>リン すげい、それw

クロ：(プレイヤー発言) 斬新な導入ですねw

マキ：(プレイヤー発言) 面白そうw

クライ：(プレイヤー発言) それはそれでやってみたいw

ジヨッシュュ：>リン 借金プレイかあ

しないよそんなの。

GM：では、ここからは森の中になります。

GM：ルールを説明しますので、MAPをご覧ください

注：このMAPのどこ何があるかは、PLにはわかりません。

	A	B	C	D
1			洞窟	
2	泉		ヴァル チャーの いる崖	崖
3		苔むした山		
4		(スタート)		

ジヨッシュ：探索しながら進むわけですね

GM：はい。まず、この森は4×4のエリアに分かれています。

GM：それぞれのエリアには1時間かけて探索しますので、材料の判定には影響ありません

GM：で、次のエリアに移動するには【地図作成判定】で10以上出さないとすすめません

GM：これは同時に何人やっても可です。

リン：(プレイヤー発言) 本格的探索みっしょんだー！

クライ：(プレイヤー発言) スカウトもレンジャーも持ってないので全部平目ですな…ってセージも無えー！

リン：(プレイヤー発言) 是非周囲の警戒にあたってください

GM：ううして進むわけですが、すでに行なったことのあるエリアなら、【地図作成判定】無しで移動できます。1時間はもちろんかかりませんが

ショッシュ：(プレイヤー発言) スカウト、レンジャーどちらもありませんね

クロ：(プレイヤー発言) セージしかない

GM：なお、エリア内では1時間ごとにイベントが起る可能性があります。

ショッシュ：とりあえず我々は今、B-4にいるわけですね

GM：そうですね。

GM：詳しくは共有メモに出しておいたので、「」覧ください。

● 1つのエリアの滞在時間は1時間。

● まだ行ったことのないエリアに行くには【地図作成判定】で10以上を出す必要がある。
これは一度に何人が行ってもよい。

成功するものがないなかった場合、1時間後に再挑戦できる。

● 行ったことのあるエリアなら、判定不要。ただし、1時間かかるのは変わらない。

● エリア内では1時間ごとにイベントが起きる可能性がある。GMの指示でHPを振ることで、斜めのエリア移動はできない。

クライ：(プレイヤー発言) 命題・方向音痴のエルフに地図を作成させて大丈夫なのか

クロ：(プレイヤー発言) どうなんだろう

ジヨッシュ：(プレイヤー発言) 地図は作れるんです。問題はまっすぐ進めないだけ

リン：(プレイヤー発言) れんじゃーがここにいるよー！

ショッシュ：まあ、とりあえず北にでも向かいます？

リン：(プレイヤー発言) ニジの探索はー？

クライ：と言いつつ南に向かうジヨッシュに足払いをかけます

ショッシュ：「おあー」「ばた」

クロ：「ナイス」

GM：回復などについても何時間休憩するかで加算しますのでそのつもりで。

ショッシュ：それはそうですね

GM：以上です。ちなみにB-4はなにもありません。

ジヨッシュ：ではまっすぐか右か左か、ですね

リン：(プレイヤー発言) 3時間でHP2割のMP5割だけ。

ショッシュ：リン、まあ、MPが回復すればHPはそれほど気にしなくても…

クロ：(プレイヤー発言) 魔香草3つありますのでそれなりに行けるかと

ショッシュ：で、ごちいきまししょうか

クライ：(プレイヤー発言)A4に向かうと、その後の行ったり戻ったりが少なくなるような気がします
リン：「アタシの勘が↑だと言っている。」

ジモンズH：じゃ、右、でなくて左へ

GM：あ、わかりやすくするために今は午前9時です

リン：(プレイヤー発言) 端から周るのは基本

マキ：(プレイヤー発言) マッパーの血が騒ぐぜ

クロ：(プレイヤー発言) 左手方？

ジモンズH：地図作成判定でしたっけ

GM：じゃあ、a-4じゃねえ。

クロ：(プレイヤー発言) でしたね

クライ：(プレイヤー発言) はいー

リン：(プレイヤー発言) 左手で操作して、右手でマッピング！思い出が蘇るエル！ー！

ジモンズH：2D6+5 合計:13 <3.5>+5

GM：地図作成判定どうぞ。

ジモンズH：とりあえず成功

ジモンズH：(プレイヤー発言) 皆もふっっておいたらさーソゾロができるかも…

リン：2D6+2 合計:9 <1.6>+2

クロ：2D6+4 合計:16 <6.6>+4

マキ：2D6 合計:7 <4.3>

クライ：2D6 合計:2 <1.1>

リン：(プレイヤー発言) ソゾロだして何かおきそうなのは…探索か

マキ：(プレイヤー発言) であ www

ジモンズH：(プレイヤー発言) ほらであ。おめでとう

GM：へクライ キタww

クライ：(プレイヤー発言) ソゾロが出たよ！ やったねクライちゃん！ww

マキ：(プレイヤー発言) おいちゃめ

クロ：(プレイヤー発言) わを

クライ：(プレイヤー発言) まさか本当に出るとはw

ジモンズH：<クライ> 3%の確立ですだからね、ぶって損はない。

クライ：(プレイヤー発言) <ジモンズ> 実感しましたw

GM：じゃあ-4じゃね

ジモンズH：「ちび」問題なくつけましたね」

クロ：「では探索だ」

リン：「なにができるかな」

リン：(プレイヤー発言) エラメ誰か一人でいいから見張ってね！何かおきるし！

クライ：(プレイヤー発言) では自分見張りに立ちます

GM：では探索判定どうぞ

ジモンズH：2D6+5 合計:12 <4.3>+5

リン：2D6+2 合計:11 <6.3>+2

GM：まあ、「」は何もないうつです。

ジモンズH：「うん、見つけられませんね。もっと奥いってみます？」

GM：ちび、イベント表ぶりませ。

クロ：「じゃね」

GM: シンシント「トコユルンや」

シンシント: 1D6 合計: 5 <5>

GM: 特に何もなご

クライン: (プレイヤー発言) 良く考えたら危険感知とか持っていないから見張りに立っても結局平
田

リン: (プレイヤー発言) 誰もいないと危険感知に。ナつくかもだし

クライン: (プレイヤー発言) <リン>なるる

リン: (プレイヤー発言) もしくは判定なしの不意打ち？

GM: <リン> むしむ

シンシント: やはりあえず北へいきまごやつか

リン: 「地図を描けー」

GM: じゃあ、地図作成ごうぞ。目標値は10

シンシント: 2D6+5 合計: 16 <6,5>+5

リン: 2D6+2 合計: 7 <3,2>+2

クロ: 「やっごした」

クロ: 2D6+5 合計: 16 <5,6>+5

リン: 「できたっー」キラ

シンシント: <リン>「それ、計算まちがってますや」

クロ: 「見せて見せし」

シンシント: 「そこに茂みなんかありません」

リン: 「ばばーん」

GM: ヽウにわけで、a-3でやね。

シンシント: 探索ですな

GM: ダイスぶっぞ

シンシント: 2D6+5 合計: 10 <4,1>+5

リン: 2D6+2 合計: 13 <5,6>+2

GM: 特に何も見当たらない

クライン: 2D6 合計: 10 <6,4>

シンシント: 「なむ、まだ屋前ですな。どんどんいきますか？」

GM: <リン> <クライン> 同じく見当たらない

リン: (プレイヤー発言) せっかくのレンジャー技能が役立つシナリオなのに㊟なせいで…

シンシント: <リン> ㊟

知力、大事だよな。

シンシント: <リン> なるほど、まあ、そのうんは頭脳組にお任せを

GM: ではクライン、トコユルンや。

クライン: 1D6 合計: 3 <3>

クライン: ギッた

GM: うーん、なにもなご

シンシント: じゃ、北へいきまごやつか

4. ウンディーネとアオバナ

クロ：(プレイヤー発言) では、地図をば。

GM：じゃあ、a-2ね。

クライ：「なんも無えな〜」(あくび)

GM：地図作成。

シンジ：2D6+5 合計：9 <3,1>+5

クロ：2D6+5 合計：7 <1,1>+5

リン：2D6+2 合計：13 <5,6>+2

リン：「ユ〜だ〜」

GM：おお〜

シンジ：「おや、どうもうまくいきませんね」

クロ：(プレイヤー発言) 「ゾロ出た〜……」

マキ：(プレイヤー発言) ん、ゾロでてるW

クライ：(プレイヤー発言) 「ゾロおめ」

GM：おめでユ〜。では、a-2だね。

マキ：2D6 合計：4 <2,2>

クライ：2D6 合計：9 <3,6>

「J」は、当たり。

GM：「J」は……

リン：「アタシの地図がいつちば〜ん〜」

GM：なんだか鼻にツンとくる。

GM：どうちやけ刺激臭がします。

シンジ：「おや、何かあるのかな」

クライ：「なんか臭え〜」

シンジ：「調べてみましょっか」

GM：目の前には湖が広がってますね。

クロ：「嫌な臭いですね」

マキ：「Jの湖からのおいでですかね？」

リン：「暴れサハギンだ〜……」

GM：ごめん

シンジ：「もし薬の材料があれば、ボクがとりに行きましょっ」

GM：あ、いや近づかないとはつきりとはわかりませんがW

マキ：「ちゃんと目標に向かって歩けるの？」

リン：(プレイヤー発言) まあ例によって飛べるけど。

シンジ：「ええと、湖くらいならとりあえず迷わずいけますよ」

クロ：(プレイヤー発言) アオバナですかね？

GM：へクロ はい。湖の真ん中にアオバナらしきものが見えます

シンジ：「ボクがリンさん、どちらかで行くのがいいでしょっね」

シンジ：「Jりあえず探索」

GM: <シモン> 探索するなら、何を対象にしましょう？ハナ？湖？森？

シモン: 湖で。何か潜んでいると危ない

GM: 了解。探索判定をどうぞ

シモン: 2D6+5 合計: 11 <5,1>+5

リン: じゃあ森ぞ。

GM: <リン> そちらもやってみよう

リン: 2D6+2 合計: 12 <6,4>+2

GM: <シモン> エーと、なにか水面が不自然に揺らめいている

シモン: その「スパーク打ち」んですか？

GM: <シモン> うーん、はいけど

クロ: (プレイヤー発言) 花大丈夫ですか？

リン: (プレイヤー発言) 割と出目がすごいことになってるなあ

GM: <リン> でも、特に「不自然な」ものはなく

リン: 「あー！クワガタだー！ー！」

シモン: 「どうもあそこ何かいるようですね」

シモン: <GM> 正確に位置が測れないかな

リン: 「これはー…カオスだー！」

GM: <シモン> どうもつづいてる感じ

シモン: <GM> その「スパークをうつと、花を巻き込む感じ」？

GM: うん。そのままなら

マキ: 「リンさんーそれより敵出るかもしれないですよー！」

マキ: <GM> 鷹の目とかで狙い撃ちできませんかね

リン: (プレイヤー発言) 何で誰も魔法使いはストーンを持っていないのだ…嗜みなのに。

クロ: (プレイヤー発言) ストーンってなんですか？

リン: (プレイヤー発言) ストーン(たくさん)とは、ただで手に入る投擲用アイテムで、魔法使いがすることがない時や、探索の時にとりあえず適当に罫などに向かって投げる使い方によっては便利アイテムである。

クロ: (プレイヤー発言) ああ、石ですか

GM: じゃあ、そうやってワイワイしていると…水の中からもなんか出てきた

シモン: 「姿を現しましたよ」

GM: 全員、魔物知識判定どうぞ。セージ技能レベル+知力B+2D

リン: 「暴れヘルスキュラだー！」

んなはずあるか。

GM: 無ければ平田

シモン: 2D6+5 合計: 7 <1,1>+5

クロ: 2D6+5 合計: 11 <1,5>+5

リン: 2D6 合計: 4 <2,2>

クライン: 2D6 合計: 9 <5,4>

シモン: 1ゾロも引っました

シモン: 「おお、ヘルスキュラですねー！」

クロ: 「死ぬっ！」

マキ：2D6+2 合計：8 <5,1>+2

クライ：「あれがヘルスキュラか」

マキ：「くそそっ」

だから違っつて。

クライ：(プレイヤー発言) おめでとっw

GM：クロだけわかるね。ウンディーネです。

クロ：(プレイヤー発言) おめでとっw

マキ：(プレイヤー発言) この卓ーゾロのペース早いw

ジヨッシュュ：「おや、もしかして敵意はない？」

GM：ウンディーネ「あら、人間？」

マキ：「ルーンフォークです」

ジヨッシュュ：「ええと、エルフです」

クロ：「人間です」

GM：ウンディーネ「あらあら珍しいわねー」

リン：(プレイヤー発言) ただし妖精語である

あ。忘れてた。

クライ：「姉ちゃん美人だな」

マキ：(プレイヤー発言) あれ、ルーンフォークに見えるっけWW

ジヨッシュュ：「そこに咲いている花をいただきたいんですが、かまいませんかね？」

クロ：(プレイヤー発言) 見えない

リン：(プレイヤー発言) 当然会話も成り立たない

GM：誰一人妖精語話せないのかw

リン：「何を言っているのだー？」

クロ：(プレイヤー発言) 言葉通じない!?!

マキ：「あるえゝ(・3・)皆誰と話してるんですか？(真顔)」

GM：じゃあね、マキ以外は見える。

GM：で、なんだか遊んでほしそっ。

クライ：「美人の姉ちゃんがなんか言っつてんな」

マキ：「c.c.」

クロ：「とりあえず、妖精なのでそこまで敵意はないかと」

マキ：「なんだ、妖精だったんですか。納得です」

ジヨッシュュ：「意思疎通できませんねえ。あいにく妖精は専門外です」

マキ：「見えないのでどうしようも」

ジヨッシュュ：「まあ、ボクなら水に入ることは可能ですが…」

クロ：「ジエスチャーでいけます？」

GM：<クロ どんな？

クロ：(プレイヤー発言) 「それ、欲しい」的な。

GM：<クロ じゃあ、ウンディーネは考え込んでる

リン：(プレイヤー発言) 水着の蛮族が近づいていることをアピールする

GM: <リン> よくわからないw

クロ:(プレイヤー発言) またそれ w

いつまで引つ張るんだ、水着w

クロ:「とりあえずなんかあげてみます?」

リン:「じゃあさっき見つけたカロスでも?」

クライ: ジョッシュの背中を蹴って湖に落としてみたらどうだろうと考えている

リン:(プレイヤー発言) 「うちは金属鎧だから色々あって落ちたら一環の終わりだからね!!」

クロ:「それってありですかね?」

ジョッシュ:「ひやあああ」なぜか湖に落っこちましようか

クライ:「あ、考えてたら足が出た。悪い」

GM: <ジョッシュ> あ、おちた?

ジョッシュ: まあ、少し水を調べてみます。もしかして強い酸だったりして

GM:「じゃあ、ウンディーネ、不機嫌になってジョッシュを沈めにかかる。」

ジョッシュ: わあああ

マキ: ほけーとしてる

ジョッシュ:「じゃあ沈められましようか

GM: でも、エルフなんで溺れないんだよねw

ジョッシュ: ええ、まったく

GM: とにかく通せんぼ。

ジョッシュ:「ううん、困りましたね。眠らせるというのはいささか乱暴か……」

クロ: 奥をのぞいてみます

GM: <クロ> 水中??

クロ: ウンディーネの後ろあたり

ジョッシュ: とりあえず水の中でウンディーネと少し遊びましようか

ジョッシュ: それで気が晴れるなら、付き合いますよ

GM:「じゃあ、遊んでくれそうだと思うたジョッシュには一枚の円盤を渡す。クロも見えていいよ

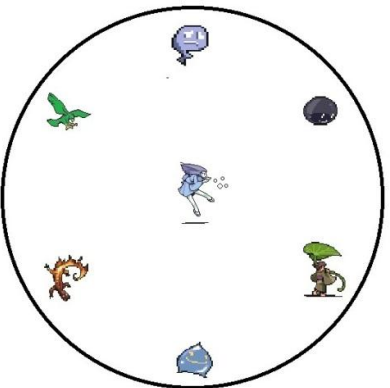
GM: で、円盤そのものはマキも見える

クロ:(プレイヤー発言) 何ですか??

ジョッシュ: 円盤??

リン:「J……Jれは……」

GM: <クロ> 円盤。ホワイトボードに出すね。



ジヨシユ：「これは？」

マキ：「なんですかこれ？」

GM：裏に文字が彫られているね。

クライ：「なんだ？」

ジヨシユ：何の文字でしょう？

GM：魔法文明語

ジヨシユ：ではボクが読めますね

クロ：読めない

GM：「光・闇・地・水・火・風・雪の精霊ありき。3筋の直線でそれぞれ1体ずつに区切れ」

GM：ぶっちゃけリドルです。

ジヨシユ：ではそれを皆に伝えましょう

GM：では「J」からシンキングタイム。

GM：現在0:54、10分おきに1時間経過とみなします。

GM：そのかわり、「J」では1d振らなくていいです

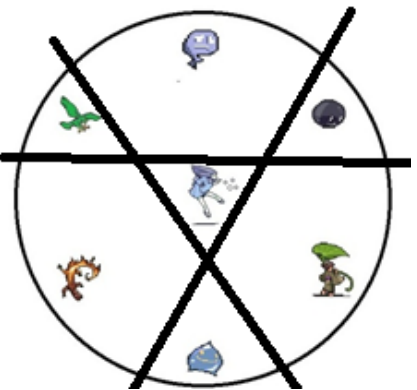
ジヨシユ：三本の線で

クロ：Jの精霊を分けろと。

GM：はい。

リン：(プレイヤー発言) 回答は左下から真ん中の左を通って右上に。鳥の上から真ん中の左を
通って葉っぱの下に。葉っぱの上から鳥の下。

ジヨシユ：かいてみたけど、多分これでいいのかな



クライ：(プレイヤー発言) おおー

クロ：(プレイヤー発言) 多分これであってるはずですね

GM：はい、リンさん、ジヨシユさん正解

早え！わずか8分で解かれちゃった。

GM：ウンディーネ、はあっと面白げな顔して水に潜ります

ジヨシユ：「おや、正解でしたかね」

GM：で、しばらくするともどつてくる。手にはアオバナ。

クロ：はちはちはち

ジヨシユ：「ええと、受け取っていいのかな？」

クライ:「おひ」
クロ:「よひごよひごよ」
GM:「じゃあ、シモン、アオバナごつごで。」
シモン:「は、受け取ります」
マキ:「んん？あれ、終わったの？」
GM:「マキ、ねつたー！W」
シモン:「ええ、もらえました」
マキ:「じゃああと二つだけだねーがんばろー☆」
シモン:「では言葉は通じないでしょうが、ウンディーネにお礼を言いましょ」
GM:「ウンディーネ、手を振って水の中へ。じゃあ、リジのイベントはおしまい。」

5. ミステリイックが呼ぶアンバサド

GM:「次はどっちへ行く？」
シモン:「また北ですかね」
クロ:(プレイヤー発言) もつじのちう北で
クライ:(プレイヤー発言) AIですかねー
GM:「了解、地図作成ごつご」
リン:「進むのだー…」
シモン:「2D6+5 合計:15 <6,4>+5」
クロ:「2D6+5 合計:12 <6,1>+5」
リン:「2D6+2 合計:8 <1,5>+2」
マキ:「2D6 合計:6 <2,4>」
クライ:「2D6 合計:11 <6,5>」
シモン:「進みまじつ…ってリンさん、また地図間違えていますよ」
リン:「んそだー？これどつんだよー」
クライ:「よ、だよ、の地図」
マキ:「(´・ω・´)」
クロ:「ずいぶん前衛的な地図ですね」
GM:「じゃあ、a-1。リジは、また森。」
シモン:「探索、ですかね」
シモン:「2D6+5 合計:16 <5,6>+5」
GM:「シモン、おお、高ご…じゃあ、アオバナ」
シモン:「1D6 合計:1 <1>」
GM:「シモン、おめでとー。救命草ひつじ。」
リン:「「んなどろろにおいしそうな緑のキノコがー…」」
シモン:「それ、毒キノコですよ」
クロ:「それはダメですよ」
クライ:「お前なら大丈夫じゃね？」
リン:「おいしそうなのこー…」
シモン:「おや、薬草がありましたよ。残念ながら目当てのものではありませんが」
マキ:「なんだか一回死んでも大丈夫なキノコに見えました」

クロ:「次行きましょっか」

GM:「じゃあ、今度はリン、ローランド」

シモン:「レンジャー技能のある人に渡しておきましょっか」

リン:「ID6 合計:4 <4>」

GM:「んねん、こちらは何もない。」

GM:「では、こちらへ」

シモン:「ではローに移動ですね」

リン:「だれもないねー。」

シモン:「お昼が過ぎますね」

リン:「(プレイヤー発言) 救命受け取り了解であります」

シモン:「(プレイヤー発言) ではリンさんに渡しておきます」

GM:「シモン a-2に戻る手もあるよ？」

シモン:「そのGMのお言葉ですが？」

クロ:「(プレイヤー発言) ローがいいかと」

リン:「(プレイヤー発言) もっかい」で救命草探す手もあるよー」

シモン:「(プレイヤー発言) リンさん、目的が違う」

GM:「リン、その場合、一時間たちますけどね」

シモン:「では素直にローいきましょっ」

リン:「(プレイヤー発言) 一度見つかったし次は達成値少し下がるはず……依頼済んだらだけど」

クライ:「(プレイヤー発言) 地図を埋めたい気がします」

GM:「クライ、なぜ？」

マキ:「(プレイヤー発言) 地図埋め賛成」

クロ:「(プレイヤー発言) トルネコ系？」

リン:「あつる……あつる……アタシはー」

シモン:「またその辺に生えている変なキノコだったりしないでくださいよ？」

GM:「先に行くとくけど、地図埋めても何もないからね」

クライ:「(プレイヤー発言) 3Dダンジョン系の地図は全部埋める派」

実は一度行ったエリアに戻るとちよつとしたイベント起こすつもりだったんだけど。

(結局、ラストまで一度も後退しなかった一行である。)

GM:「じゃあ、B-1」【地図作成判定】」

クロ:「2D6+5 合計:14 <6,3>+5」

リン:「2D6+2 合計:10 <6,2>+2」

マキ:「2D6 合計:10 <6,4>」

シモン:「2D6+5 合計:11 <4,2>+5」

クライ:「2D6 合計:7 <5,2>」

リン:「あつ……ダメだ。これも地図」

マキ:「あ、なんかそれほく出来た」

シモン:「ダメ……」

クロ:「マジ……」

リン:「(プレイヤー発言) そろそろ森のマップが出てくるよ」

GM: いませんwww

マキ:(プレイヤー発言) ネタ「カクナー」

スタジオジ●リを敵に回すつもりはない。

ジモンズH: では探索ですかね

GM: あ、クライだけ失敗かw

クライ:(プレイヤー発言) ぼっちだと!?!

GM: 探索希望の方、判定ごっつぞー

ジモンズH: 2D6+5 合計:17 <6,6>+5

リン: 2D6+2 合計:7 <2,3>+2

クライ:(プレイヤー発言) おお おめー

ジモンズH: まあ、自動成功なだけでしょうが^^:

リン:「おー! こんどはお顔のあるチューリップだ。かわいいー!」

ジモンズH:「え、それは何か危険なような…!」

クロ:「もはや、この世界か」

GM: <ジモンズH 出目が走ってるなあwじゃあ、ここでは・魔香草一つゲット。

クライ:(プレイヤー発言) 気付いたら探索に参加してしまっていた。見張りしとかないとw

ジモンズH:「薬草は見つかるんですが、これではないですよねえ」

ジモンズH:(プレイヤー発言) リンさん、パス

リン:「これで3つのお薬がそろったねー!」

ジモンズH:「まあ、確かに……!」

クロ:「違う意味でね」

アオバナ・救命草・魔香草で3つってか?

ジモンズH:「さすがにこれで帰ったら怒られるでしょうねえ!」

GM: <リン きつと! ね! 持って帰ったら<ンドリクさん>もっぺんいつて!」言いますよw

クライ:「すり潰して粉にしたら分かんねえんじゃねーの!」

GM: <クライ その道のプロをなんとか心得るw

クライ:(プレイヤー発言) <GM キーセンw

ジモンズH:「ううん、多分ばれますねえ!」

クロ:「余計叱られますよ!」

リン:「まだお土産も見つけてないしねー!」

ジモンズH:「とりあえず、次行きましょつか

GM: さて、次はどちらへ?

ジモンズH: B2ですかね、それともCー?」

クロ: 自分的にはCー希望

GM: 他の方は?

クライ:(プレイヤー発言) Cーに惹かれますなあ

リン:(プレイヤー発言) 外回りだー!」

マキ: Cーからなら重複する」となく回れるー!」

ジモンズH: ではCーいきましょつか、まあB2からでも重複しないでいけますが

マキ:(プレイヤー発言) せやな

GM:じゃあめーCーね。地図作成ぶっせ。

クロ:2D6+5 合計:8 <1,2>+5

シモン:2D6+5 合計:13 <5,3>+5

リン:2D6+2 合計:9 <5,2>+2

クライ:「酒飲んでえな」(見張り)

シモン:「リンさん、その実、食べちゃだめですからね」

リン:「できたー！お日様もでっかく書いてっ！」

GM:すいすい進むなめ。目標値高めにしとけばよかつた。

クロ:「今回はうまくいきますね」

リン:(プレイヤー発言) 2人もボーナス含めて基準ありますからのー

まあ、ストレスなく進むのはいいけど。

GM:あーCーですが。Cーには洞窟があります。

リン:(プレイヤー発言) 洞窟大冒険だ！

シモン:「洞窟…入ってみますか？」

GM:それと、つんとした刺激臭。

マキ:「目的の物のひとつありそうですね」

クロ:(プレイヤー発言) 石かなー

クライ:「臭えなー」

リン:(プレイヤー発言) 洞窟の中で臭いとか充滿してて死亡フラグにしか思えん…シモン:

暗視もちなので、一応中みれますが

GM:一本道な上、そんなに深くない。

GM:>シモン:奥の方に緑のぼんやりした光。あと動く影いくつか。

シモン:「そのことを伝えましょうか」

クロ:(プレイヤー発言) ガス爆発とかしそー

シモン:「なにかいるやつです」

リン:(プレイヤー発言) 暗視持ち2人で中に…ってきやーす

シモン:「(プレイヤー発言) >リン どうしてそう面白危険な方向に…w

シモン:「緑の光はもしかすると…ですが」

クライ:「蹴り甲斐のありそうな奴か？」

シモン:「>クライ 「かもしれません」

マキ:(プレイヤー発言) 影での距離はどれくらいでっせーっ。」

GM:>マキ ちひや 50m <1,5>。

マキ:(プレイヤー発言) ちちっど狙撃できる距離 ww

リン:「呼んでみよーやー！」

クライ:「よっしや。中入ろうぜー！」

クロ:「待ち伏せしますっ。」

リン:「Jのちきっ！一緒にめっせー！」

シモン:「明かりの用意しましよっか」

GM:あーリン:」

シモン:「もっ叫んだもっせすよ

GM:「じゃあね、向「つが」ちらに気づいた

リン:(プレイヤー発言) 洞窟の外デスヨ。

シモンズH:「リンさん、どうしてそう楽しい方向にもっていくんですか？」

リン:「さっきの子みたいに仲良くなれるかなーって」

GM:まあ、洞窟って反響するから㍻

GM:でも、外には出て「な。」

リン:(プレイヤー発言) ち

シモンズH:「だといいんですけどね。」

GM:奥で「しー」と見ている感じ。

シモンズH:「近づいかなさそうですね」

マキ:「なんか見つめてますね」

シモンズH:「まだ視界の範囲内に捉え切れていないような…」

クロ:「とりあえず魔物判定でもします？」

GM:「クロー」じゃ無理。もうちょっと近づかないと。

シモンズH:「とりあえず明かりを用意して近づきますよっ」

クライ:「うだうだ考えてたって仕方ねえだろ行って蹴って「ようぜ」

シモンズH:「いや、蹴るのが得策な相手ときまったわけでは…」

マキ:「狙い撃しー」

シモンズH:「マキさん、まって…」

リン:「あつそびらましょー…」

シモンズH:「お任せします。ボクは一応後ろにいますね」

シモンズH:(プレイヤー発言) ではライトにしましょ

クライ:「決まったか？ 決まったな？ 行くぞー」

シモンズH:「では 光明」

シモンズH:2D6+5 合計:12 <1,6>+5

シモンズH:成功です。メイジスタッフにかけておきます

GM:は。MP減らしも…Okね。

GM:隊列はー？

リン:「隊員達アタシに続けー」

クロ:「後ろにいます」

シモンズH:「リンさん、明かりの外にはいかないでくださいよ」

クライ:「俺が先だー」

マキ:「後列で」

シモンズH:「後列です」

GM:ま、そうなるよね。じゃあ、すすんでいくと…影は4つ。

GM:奥に「ドドドド」が見えますが、4体が邪魔。

リン:「アタシに平伏すなら今のうちだぞー」

クロ:「言葉通じますかね」

シモンズH:「うーん、いきなり平伏と「つ」のは無理かと」

クライ:「オラかかって「いやあー」」

マキ:「まだ敵と決まった訳じゃないですし…」

クロ:「まず、相手が何かかわからないですね」

シモンズH:「多分、そろそろ欲求不満かもしれませぬ」

クロ:「一回も戦闘してないですね」

リン:(プレイヤー発言) コールゴッドの準備してるメティシエ神官ですね。

そんな強敵、出していいなら出すけど。

ジモンシュ:へリン、うわお

GM:全身腐ってるからなあ

GM:じゃあ、魔物知識判定どうぞ。

ジモンシュ:2D6+5 合計:12 <6,1>+5

ジモンシュ:2D6+5 合計:15 <4,6>+5

クロ:2D6+5 合計:8 <1,2>+5

クロ:2D6+5 合計:16 <5,6>+5

リン:2D6 合計:10 <6,4>

リン:2D6 合計:5 <4,1>

マキ:2D6 合計:6 <1,5>

マキ:2D6 合計:5 <3,2>

クライ:2D6 合計:8 <5,3>

クライ:2D6 合計:6 <2,4>

リン:「またでたなーっ！モケケ。ヒロ。コロー！」

ジモンシュ:「そんなモンスター、いませんから」

GM:まず一体目。こちらはグールメイジ。

ジモンシュ:げげ

リン:(プレイヤー発言) ぐげ

ジモンシュ:まずい、カンタマないぞ…

クライ:(プレイヤー発言) おろ

GM:で、残りの3体。こちらは弱点も抜いてる。ゾンビだね。

ジモンシュ:回復魔法に弱いと

GM:はっ。

クロ:(プレイヤー発言) 数拡大ですかね

ジモンシュ:おまけにスリープもきかない

リン:(プレイヤー発言) 露骨に魔法モンスター出してくる…いやらしい

GM:では戦闘に入りますよっか。

ジモンシュ:先制ですね

クライ:「もーちまちま変な円盤いじくったり草むしたり面倒臭えんだよ！ 蹴らせろ！」

ジモンシュ:「クライさん、ちなみにそれ、全部ボクがやったことですからねっ」

クライ:へジモンシュ、しかしクライには聞こえていない！

GM:はい。先制判定(スカウト+知力B+2D)

GM:11は13ね。

クロ:2D6 合計:2 <1,1>

マキ:(プレイヤー発言) またーソロがw

クロ:ソロゲット2回目…

ジモンシュ:まずい、先手とれるか…?

マキ:2D6+2 合計:14 <6,6>+2

ジモンジユ: お、とれた

クロ:(プレイヤー発言) おお

クライ:(プレイヤー発言) GJ..

GM: じゃあどうぞ。

ジモンジユ: 簡易戦闘でいいんですよ

リン:(プレイヤー発言) 前列2人置いて4匹とも誘い出して1ターンで落とすしかない。

GM: リン、前衛の半分以上なんで、2体までですね(にやり)

ジモンジユ:(プレイヤー発言) 乱戦になれば、倍までとめられたっけ？

GM: ハジモンジユ はい。

クロ:(プレイヤー発言) 11の位置プロテ(《フィールドプロテクション》のこと)全員できます？

GM: ハクロ 最初だけOK

後衛に配置したキャラクターでも、魔法かけられてからすぐ前衛にでれるから、手間省く意味だね。

リン:(プレイヤー発言) ただ「ぶろかけるなら全員後衛スタート」という手も

ジモンジユ: まだ乱戦してないから、範囲魔法は巻き込まないよね

ジモンジユ: ただ、グルルまでは巻き込めないか

GM: はい。まだ大丈夫です。

リン:(プレイヤー発言) 「ぶろや開幕スパークするなら後衛スタートするしかないけど。

GM: 一人でも近接攻撃したら乱戦。

ジモンジユ: じゃ、クロさんFPする？もしくは回復魔法全体がけ？

クロ:(プレイヤー発言) まずはプロテがいいかと

ジモンジユ:(プレイヤー発言) ええと、ボクもプロテ？

リン:(プレイヤー発言) 別にいいけど20+6じゃ期待値出しても2点しか…いやなんでもない

クロ:(プレイヤー発言) あ、それどうだろう？

ジモンジユ:(プレイヤー発言) 11こちらはスパークで、敵の削りを早めたほうがいいかな？

クロ:(プレイヤー発言) バニッシュという手も

ジモンジユ: ああ、効きますね

リン:(プレイヤー発言) 4倍ばニ(《バニッシュ》のこと)で魔法封じてくれるのが一番かな？

ジモンジユ:(プレイヤー発言) とりあえずスパークいれてみますか

クロ:(プレイヤー発言) ではそれで

GM: 了解、じゃあスパーク判定どうぞ

ジモンジユ: ゾンビ3体にスパークいれます

リン:(プレイヤー発言) そんぴせMPもったいなければゾーでもいいけど。

ジモンジユ: 2D6+5 合計: 8 <2,1>+5

ジモンジユ: うわ、低いな

GM: リンは抵抗した。

ジモンジユ: ROC13+5 合計: 7 <[5,2]> = <2>+5

ジモンジユ: 4点の雷撃ダメージ

GM: ダメージは個別に判定します。B.Cにもダメージどうぞ

ジモンジユ: ROC13+5 合計: 6 <[4,2]> = <1>+5

ジモンジユ: ROC13+5 合計: 6 <[2,4]> = <1>+5

シンシント:あとは3点ですね

GM:ちみっと痛い。

クロ:(プレイヤー発言)では4倍拡大バニッシュでいいですか？

GM:<クロはいな、こやあ、判定どうぞ。かかったかどうかは一回だけで。

リン:(プレイヤー発言) MP12...もったいないような気もするけど戦闘終わったら休むかあ

クロ:(プレイヤー発言)では

クロ:2D6+7 合計:16 <3,6>+7

GM:全員かかったw

GM:じゃあ、個別に効果をば

リン:(プレイヤー発言) ばーさく...ばーさく...

クロ:2D6 合計:4 <3,1>

クロ:2D6 合計:3 <2,1>

クロ:2D6 合計:10 <6,4>

クロ:2D6 合計:6 <3,3>

リン:(プレイヤー発言) キター...のか？

GM:グルメとゾンゴAはバーサク、

リン:(プレイヤー発言) Bは行き止まりの洞窟で逃げ出そうと...

GM:Bは行動不可、Cは行動ー。

クロ:(プレイヤー発言) やっちゃったかなー

GM:くそっ、グルメマジが魔法使えなくなった！

リン:(プレイヤー発言) 前線に出てくるしかないですね(ニヤリ

単純な殴り合いになったらリンが固いんだよ！

クライ:(プレイヤー発言) エッハー

クロ:「後、殴っぴゅんぴゅん」

GM:誰からさくー？

クライ:(プレイヤー発言) では行って良いですか？

リン:(プレイヤー発言) とりあえず回避の落ちてるAから落として欲しいかなーって

GM:ズンぞ。相手は？

クライ:ならばゾンゴAにマンスルベアーからの2回蹴たくりで

GM:はい。錬技などの追加の効果は各自で記録しておいてね

GM:了解。うちらの回避は8

クライ:2D6+4 合計:11 <5,2>+4

GM:あたいした。

クライ:よこっやー

クライ:R20C10+9 合計:12 <[3,2]>=<3>+9

クライ:R20C10+9 合計:12 <[4,1]>=<3>+9

クライ:(プレイヤー発言) 合計12 呟

リン:(プレイヤー発言) 命中判定は2回叩いてねー

クライ:(プレイヤー発言) おこっや

GM:1発目はくっさした。

GM:2発目はくっさ

クライ：2回目のやつは命中しきもあ

クライ：2D6+4 合計：14 <5,5>+4

GM：はじ。ダメージはそれきりでじや。ソングA、ぐしやー

クライ：「くるやー……」

GM：Aが汁まき散らして飛び散ったww

GM：次はー？

リン：(プレイヤー発言) おー…

GM：カモン…

リン：(プレイヤー発言) Bは無視して叩くべきなのかね？

リン：(プレイヤー発言) とりあえずクライさんかばう宣言とポーション使って。

リン：(プレイヤー発言) でこくビームメイスでぶん殴りー

クライ：(プレイヤー発言) きつとかばってくれるって信じてた…くく

GM：では命中ダメージ。うちらほ9

リン：2D6+4 合計：12 <6,2>+4

GM：あたったー

リン：「かくしー」

GM：ダメージぞ

リン：R20C12+6 合計：11 <[1,6]> = <5>+6

リン：「シューん……」

GM：10点くったー

マキ：キヤッツアイとターゲットサイトで命中上げます

GM：了解。誰狙っ？

マキ：じゃ

GM：了解。命中判定どうぞ。うちらほ9

マキ：2D6+7 合計：13 <4,2>+7

GM：うんすった

マキ：R20C10+9 合計：11 <[1,3]> = <2>+9

リン：(プレイヤー発言) いちたりない…

GM：もう…

マキ：(プレイヤー発言) むむむ

クライ：(プレイヤー発言) 出たな妖怪いちたりない…

クロ：(プレイヤー発言) ハイロードだ

GM：じゃあうちの番ね。

リン：「かっかてりやー…」

クライ：「来いやあああ」

GM：まずはグルメリッジ。奇数なら前に出る、偶数なら後ろでまごまご

リン：(プレイヤー発言) 全力攻撃が2d+7になるけど頑張つてよけてね…

GM：1D6 合計：5 <5>

GM：じゃあ移動&攻撃。リン、麻痺毒に気をつけてね

リン：(プレイヤー発言) ダメージ受けるわけじゃないし(ギク)

GM：うちの命中は12…

クロ：(プレイヤー発言) キュア・ポイズン使えます。

リン：「アタシか…アタシなのか…」

GM:うん。回避どっぞ

リン:(プレイヤー発言) 命中じゃなくて回避なら防護盾にはどうでもいいのだー

リン:2D6+3 合計:12 <3,6>+3

リン:「踏み込みが甘いっー!」

GM:僅差でかわされた!次、口は動けないので、のがクライに…と、ここでリンがかばってるか

リン:(プレイヤー発言) メイン盾(回避盾兼業なう)。

リン:「あつぷなーいー!」

クライ:(プレイヤー発言) サージンキーン

GM:じゃあリン、続けて全力攻撃!

クライ:「恩に着るー!」

リン:(プレイヤー発言) かばうならよけるなどと選択肢はない!

GM:じゃあ、そのままダメージは…

GM:2D6+6 合計:16 <6,4>+6

リン:(プレイヤー発言) やっぱり殺意ばねえ!?

GM:「ぐるぐる…」ちゅあwww

リン:「あたあっー!」

リン:(プレイヤー発言) 5てーん

GM:「これで手番終わりーどっぞ

リン:(プレイヤー発言) やっちゃえー!

クロ:(プレイヤー発言) そういや、さっきの拡大2倍でよかったんですね

ジモンズH:いくらなんでもこのシチュエーションでスパークはまずいですね

リン:(プレイヤー発言) リンがしんでしまいます

GM:<クロ そうだね、MPもどしてよって

ジモンズH:(プレイヤー発言) ダークミストで回避を落としてみるか…??

GM:「んじゅ」は虫の息ですがwww

クロ:「キュアでこどグール狙いますか?」

ジモンズH:(プレイヤー発言) ああ、その手がありますね

リン:(プレイヤー発言) それが一番手っ取り早い?

クロ:「リンさんの回復も一緒にします?」

リン:「アタシはまだまだよゆうよゆうー!」

クライ:(プレイヤー発言) >マキ 自分でどごめ刺したそうw

マキ:(プレイヤー発言) po的にはそうだと思いますw

ジモンズH:じゃ、ボクは前衛に数拡大でプロテクションをかけましょう。

GM:では判定どっぞ

ジモンズH:ではお先にプロテクションいきます

ジモンズH:2D6+5 合計:16 <5,6>+5

ジモンズH:「んなとき高い。ではリンとクライにプロテクション

GM:かかった。MP>5じゃよっぞ

クライ:(プレイヤー発言) ありがたやw

GM:効果はリンとクライ、自分で加算よろしく。

リン:「ありがとー!もうダメージ受ける気がしないよー!」

クロ:(プレイヤー発言) では、キュアをグールとリンさんに?

GM:<クロ 判定どっぞ

ジモンズH:「魔壁」

リン:(プレイヤー発言) こっちにかけるならのを成仏させるべき？

クロ:(プレイヤー発言) マキさんがキルマーク欲しいみたいなんで

マキ:(プレイヤー発言) 南無阿弥陀仏

マキ:(プレイヤー発言) ん？いや成仏させちゃってください！

クロ:(プレイヤー発言) 了解です。

GM:<クロ じゃあ3体ね、どうぞ

クロ:(プレイヤー発言) 数拡大3倍キュアで

クロ:2D6+7 合計:19 <6,6>+7

クライ:(プレイヤー発言) 嫌な感じに成仏させるんですね分かります

ジモンズH:(プレイヤー発言) すげえ

GM:ぎゃああああ

クロ:(プレイヤー発言) これかー

リン:(プレイヤー発言) すげいなあ

クライ:(プレイヤー発言) おおおー

マキ:(プレイヤー発言) その発想はなかったってのゾロだーわあ

GM:ダメジ下さい。あ、のはかかった時点で死んでるんでダメジいいやwww

ジモンズH:(プレイヤー発言) 回らないのが残念だね

リン:(プレイヤー発言) ダメージ算出してねー

クロ:(プレイヤー発言) グール、リンさんの順で

クロ:R10C13+7 合計:11 <4,4>=<4>+7

クロ:R10C13+7 合計:12 <6,3>=<5>+7

クロ:R10C13+7 合計:12 <3,6>=<5>+7

リン:(プレイヤー発言) 巻き込まれ巻き込まれ巻き込まれてるー！！！？

GM:リンは12点回復。

リン:「ありがとー！あたしはバリバリ元気になるよー！」

GM:のは崩れ去りました……

GM:大丈夫、まだグールは元気！リンのピンチはまだまだ続くよwww！

リン:(プレイヤー発言) 10点だとこっちだとー発には期待値以上かなー

GM:次はー？

ジモンズH:(プレイヤー発言) 次のターン、ブライトいれるべきかエンチャントすべきか悩むなあ

クライ:(プレイヤー発言) 先にグルメ集中して蹴った方が良いですかね

リン:(プレイヤー発言) ブラントなんて入るとほんとーにダメージ受けなくなってしまいます

ジモンズH:(プレイヤー発言) めるすぎますか？

リン:防護点12→打撃点2d

リン:(プレイヤー発言) つまり……

GM:ちなみにBは「の」ターン動けるからね。

ジモンズH:(プレイヤー発言) 絶対にダメージ入らないか

クライ:(プレイヤー発言) おっと じゃあ雑魚からいくかな

GM:<ジモンズH まあ、それはそれで構いませんよwww

マキ:(プレイヤー発言) 次のターン、そこにはボロボロで横たわるBの姿が！

リン:(プレイヤー発言) GM?まだまだ前座なんでww

クライ:(プレイヤー発言) いちたらない前提ww

ジモンシフト:(プレイヤー発言) もしくはダークミストで回避をさげるといつ手もありますが
リン:「やっちゃえー!」

クライ:(プレイヤー発言) 攻撃行ってもいいですか? ゾンゴに2回蹴り

ジモンシフト:(プレイヤー発言) どうぞぞ

GM:<クライ どうぞ。回避は 10

クライ:2D6+4 合計:14 <4,6>+4

クライ:2D6+4 合計:15 <5,6>+4

GM:あ、両方あたった。ダメージ-

クライ:R20C10+9 合計:11 <[3_1]> = <2>+9

クライ:R20C10+9 合計:15 <[3_5]> = <6>+9

GM:一撃でどきゅじゅああ

クライ:げげげ

リン:「わー。」

GM:2発目で汁が…汁が…

クライ:「ジャンパー!」

マキ:「汚い花火ですね」

ジモンシフト:「まあ、順調でなにより」

リン:(プレイヤー発言) かばう宣言して殴りかかるー

リン:「ふるすいんぐー!」

クライ:「俺の分も残しとけよー!」

リン:2D6+4 合計:9 <1,4>+4

GM:スカン-

リン:「…あーれー?」

マキ:(プレイヤー発言) じゃあ私か

マキ:(プレイヤー発言) タゲサ使います

マキ:2D6+7 合計:19 <6,6>+7

クロ:(プレイヤー発言) またかーww

クライ:(プレイヤー発言) すげえw

ジモンシフト:よくでるねえ

マキ:(プレイヤー発言) お願いだから威力で出てえw

GM:<マキ 何とどうスナイパーwwダメージどうぞ

マキ:R20C10+9 合計:22 <[6_4],[4_3]> = <8,5>+9

マキ:わあ

GM:ぐはああ-

リン:(プレイヤー発言) はあん!

ジモンシフト:おお、でたでた

クライ:(プレイヤー発言) おおおお

クロ:(プレイヤー発言) 初クリティカル

GM:何!の子!マキって殺し屋!?

マキ:「ちよろいモンだぜ!」

クロ:(プレイヤー発言) 南無三

クライ:(プレイヤー発言) キャーンキャン

マキ:(プレイヤー発言) しかし相手は倒れてないという

リン:(プレイヤー発言) 後10かー。MP使わせないためにも前衛でしとめねばー
ジモンジモ:(プレイヤー発言) しづといね

GM:かけら入れているからねWWW

クロ:(プレイヤー発言) しづとい

リン:(プレイヤー発言) かけらがなければ即死だった

GM:うん、でも魔法つかう機会はなさそうだなあ

リン:「させるかー!」

GM:じゃあ「うちら。リン行くよー」

リン:「全力でよけるー!」

GM:爪で攻撃ー命中は12ー

リン:2D6+3 合計:6 <1,2>+3

GM:YEEESS!

リン:「わー!」

GM:ダメージー

クライ:(プレイヤー発言) GMが嬉しそうです<>..

GM:2D6+4 合計:13 <3,6>+4

リン:「キー!」

リン:(プレイヤー発言) 1てーん

ジモンジモ:なんと!硬ね

GM:<クライ そりゃあね...ってシクシク。くそっ、魔法使えればなあ...ww

マキ:(プレイヤー発言) 良い音してそうw

リン:(プレイヤー発言) 麻痺毒かー

クロ:(プレイヤー発言) キュア・ポイズンする?

リン:(プレイヤー発言) 抵抗を試みるよ!

クロ:(プレイヤー発言) 分かりました

GM:<クロ 生命判定の後ね。リンどうぞ!ー

リン:2D6+7 合計:15 <6,2>+7

リン:「...c」

GM:平気すぎWWW

クロ:(プレイヤー発言) おお~

クライ:(プレイヤー発言) 頼もしいw

リン:(プレイヤー発言) さあ追撃してくるがよい。今度こそ避けて...避けて.....

GM:じゃあそちらのターン!ー

リン:(プレイヤー発言) ...2回攻撃は?

クロ:(プレイヤー発言) 後衛、様子見で

ジモンジモ:(プレイヤー発言) ああ、そういえばグルルは2回攻撃だったような...

クロ:(プレイヤー発言) メモにはありませんけど

2 回 攻撃 なの 忘れて た。

GM:ほんとだwwまあ、バーサークの弊害としとしてWWW

GM:じつっちゃけメモ忘れw

リン：(プレイヤー発言) わーひ。
クライ：(プレイヤー発言) 2回蹴ったつたります！
リン：「がんばれー！」
クライ：2D6+4 合計：13 <4.5>+4
クライ：2D6+4 合計：10 <1.5>+4
GM：一発くらったー。
クライ：ぐきゅ
クライ：R20C10+9 合計：13 <4.2> = <4>+9
シモン：(プレイヤー発言) バニシは偉大だね
GM：あ、ちゅんど落ちた。

GM：(プレイヤー発言) わーひ。
HPはほとんど減ってないものの、MPは全員かなり減っていた。

シモン：「やれやれなんとかなりましたね、さて、目当てのものがあるところですが」
クロ：「安らかに眠りたまえ」神官的」
GM：では奥にミユリイシが見つかりました。
GM：誰か戦利品はぐー？
シモン：回収しまじや
リン：「はきはきとリマシ」
クライ：「あースッキリしたー」(ゾンビ汁まみれで爽快な笑顔)
GM：誰がどれするか決めてね
クロ：「まず、顔洗いまじや」
クライ：「おじやー」
GM：剥ぐのはシモン、リマシ。
リン：(プレイヤー発言) 他にやる人いないならきとーにするけど。
クライ：「好みに剥きよけてくれようぜー」
クロ：「まじや」
マキ：「任せまじや」
リン：(プレイヤー発言) じゃあミユリイシの事など忘れて夢中で剥ぎ取りをしています。
シモン：「じゃ、ふりますか」
シモン：「ちらは、ンユ」3体をばきまじや
シモン：2D6 合計：6 <4.2>
リン：「大物だー！」
シモン：2D6 合計：6 <1.5>
シモン：2D6 合計：7 <2.5>
マキ：(プレイヤー発言) ミユリイシ、そいつのもあるのかー。
シモン：(プレイヤー発言) それがメインですが、..
リン：2D6 合計：4 <1.3>
クロ：(プレイヤー発言) あじはアカダメですね
GM：△シモン、ンユの眼球×6(1000G)
リン：「・・・あじや、あじや、あじや何も見つからなかったー」
GM：△リン、ゴールキス(20G)

ジヨッシュュ：「確かこれは乾燥させて粉にすると薬になるんでしたね」

リン：(プレイヤー発言) 剥ぎ取りは共有メモの一番上に書いときますー

GM：<リン 助かります(謝)

クライ：「ああー 思いつきり蹴ってやったからなー!」くばらばら

クロ：「飲みたくないですけど」

6. せいおはなうー

ジヨッシュュ：「そっ、あと一箇所ですね。その前に休みますか？」

GM：そっ、どうします。

リン：(プレイヤー発言) 後怪しげなメモとか。

クロ：(プレイヤー発言) メモ？

リン：(プレイヤー発言) 探索したエリアの情報をリンが書いているのです。

クロ：(プレイヤー発言) ああ、これですか

クライ：(プレイヤー発言) 意外にありがたいw

リンのメモについてはラストのオマケ参照。

クロ：「3時間休憩しますか？」

リン：「寝るぞー!」

ジヨッシュュ：「誰が見張りにつきます?」

GM：3時間だと、3時間でHP2割のMP5割ね

リン：(プレイヤー発言) 休むにしろ、交代での時間かかるからなあ

リン：(プレイヤー発言) 洞窟といういい縄張りは得たけども。

クロ：(プレイヤー発言) 臭いけどね

リン：(プレイヤー発言) マキが3時間寝て後は3時間寝て3時間見張り!以上!

GM：了解

クロ：(プレイヤー発言) ではそれで

クライ：(プレイヤー発言) 了解ー

GM：じゃあ最初の見張りは?

リン：「アタシは寝る前にご飯を食べたいのだー!先に休んできるといぞー!」

クロ：「技能は分けます?」

GM：じゃあ、リンと...後衛のジヨッシュュかクロ?

クライ：(プレイヤー発言) 自分は後半見張りですねー

ジヨッシュュ：(プレイヤー発言) じゃあ、ボクもおきてみましょうか。急ぐ必要はないので

クロ：(プレイヤー発言) 光つてもちますかね。の時間

リン：(プレイヤー発言) 洞窟の入りに見張ればいいんじゃない

クロ：(プレイヤー発言) ま、なんかかなるといふことですね

リン：(プレイヤー発言) と、言うことで保存食おいしいです

GM：じゃあ、最初の3時間。リンとジヨッシュュが見張りね。

クロ：「では、先に休ませてもらいます。お休みなさい」

クライ：「頼んだぜー!」

シモンズH:「おやすみなさん」

GM:マキ、クロ、シモンズ、ノーロ振って。イベント表みるから

シモンズH:1D6 合計:6 <6>

マキ:1D6 合計:1 <1>

リン:「クリスにもらったジャムでパンがおいしー。」

クロ:1D6 合計:6 <6>

あ。6振った。しかも2回。(メモメモ)

GM:極端だなーwww

リン:(プレイヤー発言) まさか中でイベントがおきるとは誰も思わなかったのだ

マキ:(プレイヤー発言) ひびくww

クロ:(プレイヤー発言) これはww

GM:ただ、ここでは何もなし

シモンズH:(プレイヤー発言) よかった

GM:ひびく...

マキ:(プレイヤー発言) ...?

GM:ともあれ、3時間経過。

クロ:(プレイヤー発言) なんかいやな予感が

クライ:(プレイヤー発言) GMが怪しげに笑っています<>>

クロ:「おはようございます」

GM:回復は各曲ひびく<>>。

GM:HP2割のMP5割ねー。

リン:「ね、寝てないぞー...?アタシは寝てないのだー!?!」

リン:「ちゃんと見張ったのだー!」

GM:ハリン、はびくwww

GM:じゃあ次の3時間。

クロ:「ひは、おやすみなさん」

クライ:「おー、ちゃんと休んどけよー」

GM:見張りはクライとクロ。

クロ:(プレイヤー発言) ですかね

クライ:(プレイヤー発言) あい

GM:次の3時間ね、クライ、リン、マキ、ノーロしく

リン:1D6 合計:3 <3>

マキ:1D6 合計:6 <6>

クライ:1D6 合計:6 <6>

またの田た。これが4回か...

リン:(プレイヤー発言) 6率おかしいなね...?

GM:またのが2つかwww田田偏ってるなあ。

クライ:(プレイヤー発言) なんだこの田田www

マキ:(プレイヤー発言) 確かにwww

クロ:(プレイヤー発言) なんなんだろうw

GM:OKじゃあ3時間だった。

GM:現在18時。

クロ:「夜ですね」

リン:「なんだ夜か…もうちょっと寝よう。」

クライ:(プレイヤー発言) 確か最後のなんとかって日当たりの良いところにあるとかってw

マキ:「おはよう…こんばんは?」

クロ:「こんばんは?」

GM:そう言ってるんですけど…

クロ:(プレイヤー発言) はい?」

リン:(プレイヤー発言) 出した出目のくのもんすたーが遅いかかって来るんだよ!

GM:D-2の方角から「まず…まず…」と何かやってきます

GM:もう知ってるから判定いらぬ。ゾンビ8体w

リン:(プレイヤー発言) はいおはざーどだったー!?

クロ:(プレイヤー発言) 8体www

GM:2体×4回だったGBM

9が出るゾンビ2体が出るイベントだったのだ。

マキ:(プレイヤー発言) バイオハザードてwうわあw

クライ:(プレイヤー発言) ミトリイシ効果かw

リン:(プレイヤー発言) うわーんやっぱりのせいだー!?

クロ:(プレイヤー発言) それかー

マキ:(プレイヤー発言) あ、なるほど

GM:へクライいや、偶然w

クライ:(プレイヤー発言) 偶然だと…w

GM:もともとマナの流れで「の森アンテナ」でやすいのw

GM:エリアにもよるけどw

クロ:(プレイヤー発言) 8倍拡大キョアをちれとwww

GM:でどつする?今ならまだゾンビ、エリアの境目だから

GM:逃げるならひきぬけや。

クロ:(プレイヤー発言) どちから?」

リン:(プレイヤー発言) 8匹はかばいきれないなあ

GM:ただし、C-2に行くなら地図判定ね

GM:ビーなび一度とおってるから判定不要。

クロ:(プレイヤー発言) どつします?」

ジャンプ:(プレイヤー発言) 範囲攻撃手段は少ないですね

クライ:「いじじゃねえかやちまおつぜー!」

ジャンプ:(プレイヤー発言) 倒せなくはないだろうけど、多少の消耗はあり

クライ:(プレイヤー発言) と言っと思っので止めてくださいいな

マキ:(プレイヤー発言) マキが足手まといになる予感

リン:(プレイヤー発言) 弾もMPも切れますな

ジャンプ:「まあ、今後のことも考えて」「は退いておきますか」

GM:「前衛2人だしねえ」

シモンズH:「あそこに薬があるというなら話は別ですがね」

リン:「アタシに任せて先に行きな〜」ヤリッ

クロ:「どっちに行きますか?」

リン:(プレイヤー発言) 〇匹倒すのは骨が折れそうだし、だが時間を稼いで飛んで逃げることは

クロ:(プレイヤー発言) 多数決。戦う?逃げる?

リン:(プレイヤー発言) 逃げるんだよお!

シモンズH:(プレイヤー発言) だそうです

クロ:(プレイヤー発言) では、どちらに入りますか?

シモンズH:「C2にしましょ」

クロ:(プレイヤー発言) 自分もC-2に一票で

シモンズH:「B2、B3とくけば重複しないはず」

リン:(プレイヤー発言) れっ!「J」...

クライ:(プレイヤー発言) C2はOKです

マキ:(プレイヤー発言) 「J」

GM:OK「じゃあ地図作成どうぞ」

クライ:「チッ、しまねえな」

クロ:2D6+5 合計:12 <5,2>+5

シモンズH:2D6+5 合計:16 <5,6>+5

リン:2D6+2 合計:7 <3,2>+2

マキ:2D6 合計:5 <4,1>

シモンズH:「まあ、お楽しみはとっておきます」

リン:「そんぴをいっばい地図に書いておいたよ〜」

シモンズH:「リンちゃん、それはあまり...」

クロ:「それって動きますよね」

GM:「じゃあC-2」

リン:(プレイヤー発言) ラクーオンテイそっくりの地図を書き上げました。

GM:「J」は、切り立ったがけになっています

GM:「E」もどの高さ約10m

シモンズH:「リンちゃんならEもくればいいですね」

クロ:「お願します」

GM:「んで、全員「J」で、危険感知判定どうぞ。スカウト・ウィングー技能レベル+知力B+2D

シモンズH:2D6+5 合計:15 <6,4>+5

リン:2D6+2 合計:9 <3,4>+2

マキ:2D6+2 合計:7 <1,4>+2

シモンズH:「気づきましたかね?」

クライ:2D6 合計:11 <5,6>

クロ:2D6 合計:5 <4,1>

リン:「お〜ち〜る〜」

GM:シモンズHとクライは気づいた。中腹にすかい鳥の巣。

クロ:(プレイヤー発言) 今って、誰か光持っていました?

クライ:「お、なんかあるな」

シモンズH:「っと、その前に危険なものが…」

GM:おっきな鳥がこっち見て警戒してる

リン:(プレイヤー発言) サンダーバード・エイギアスの巢だど?なぜこんなところに!

シモンズH:(プレイヤー発言) だからネームドだすでないw

そんな上級モンスターだすかい。

GM:魔物知識判定どうぞ セージ技能レベル+知力B+2D

クロ:2D6+5 合計:11 <4,2>+5

リン:2D6 合計:10 <6,4>

シモンズH:2D6+5 合計:14 <4,5>+5

クライ:2D6 合計:7 <1,6>

マギ:2D6 合計:6 <2,4>

クロ:(プレイヤー発言) それって相手も自分たちも見えない?

シモンズH:(プレイヤー発言) 暗視があれば見つかりますね

GM:9以上で気づく。ヴァルチャーです。

クロ:(プレイヤー発言) ありましたっけ?

シモンズH:「ヴァルチャーみたいですね、どうしたのか」

シモンズH:(プレイヤー発言) ま、戦闘になったらボクがライトしますよ。それで大丈夫なはず

GM:鳥目だからなあ。夜目はきかないかも。

クロ:(プレイヤー発言) 分かりました。

シモンズH:「今からなら不意打ちできなくはないですが…」

GM:無視して降りるなら一撃くらっただけでOK

シモンズH:射程10Mなら、スリープできなくはないですが…

GM:へシモンズH 試す?

リン:「…」
「ジュエル」

クロ:「リンさんc。」

リン:「c。」

GM:へリン、食う気がwwww

シモンズH:やっつみまじょうか

GM:では判定やっつ

クロ:「まさかとは思いますが…」

シモンズH:2D6+6 合計:9 <1,2>+6

GM:抵抗は13

シモンズH:あちゃあ、失敗

GM:抵抗。ちよつといらつとした

GM:ただ、巢を守って飛んでは来ない

シモンズH:「ぶむ、どうしますか?もう一回かけてみるか、あえて攻撃覚悟でみてきてもらっかc。」

クロ:(プレイヤー発言) 巢になんかありません?

GM:みたやっつ、特に何かある様子はない。卵くらいかな。

リン:「…」
「コケ」

ジヨシシユ：「わかりました。もう一回だけスリープかけてみましょう。だめだったら、卵はあきらめてくださいよ」

クライ：(プレイヤー発言) リンなら往復で2回攻撃受けても大丈夫なんじゃないかと期待する自分がいるw

クロ：「とりあえず、横の人の目が怖いんですが」

マキ：「すく食べたそうな顔していますね」

GM：<ジヨシシユ じゃあ、もう一度判定どうぞ

シマンシト：2D6+6 合計：16 <6,4>+6

シマンシト：「眠り」

GM：寝たーw

リン：「夕飯は卵料理だー」

シマンシト：「なんとか効きましたね…」

クライ：「なんだジヨシシユお前も卵狙ってたのかよ」

GM：どっどっどっどっ降りますc.10mだけよ。

クロ：「ロープだします」

シマンシト：<クライ 「じゃ、リンさんに暴走されるよりはマシかと思ってますね」

クロ：(プレイヤー発言) 下に何かある？

GM：何もなし。

シマンシト：特に下におりる必要はないのかな

GM：ロープつかって降りるなら、ーゾロ以外は成功でいいです。ーゾロ振ったら落下ダメージだけよ。

クロ：「ロープ垂らせば食欲はみたせますね」

クロ：「力仕事は自分も不向きです」

ジヨシシト：「リンさんに飛んでいってもらうのが一番確実だとは思いますが…」

リン：(プレイヤー発言) ピンゾロ出して死なないのが自分ひとりっていつ

クロ：(プレイヤー発言) ですね

リン：(プレイヤー発言) というところでロープを垂らしながら降りる？

クロ：(プレイヤー発言) そうしましょ

GM：じゃあ2d6よ。

リン：2D6 合計：8 <4,4>

リン：「おつー」

GM：他の方もおつー

マキ：2D6 合計：4 <3,1>

リン：(プレイヤー発言) 失敗したら下で受け止めるかー。

クロ：(プレイヤー発言) 上でだれかささえなくてもいいんですか？

GM：<クロ まあ、ロープ結ぶ木には事欠かない

クロ：(プレイヤー発言) 了解です

クロ：2D6 合計：6 <3,3>

GM：ではあとジヨシシトとクライー。

GM：クライは「おつー」だね

「おつー」クライのPLはちょっと離席してたのだ。

GM:2D6 合計:9 <3,6>
ジモンズH:2D6 合計:3 <2,1>
ジモンズH:「うわ、かなり危ない」
リン:(プレイヤー発言) あぶない
GM:「ジモンズH おおおっ。」
GM:「では全員無事に崖から降りたと。」
ジモンズH:(プレイヤー発言) このHPではほぼ死ぬますね
GM:「ジモンズHは上ですまじまじしてる。降りてくる気配はない」
GM:「では次、どちらへ。」
ジモンズH:「B2かな」
クロ:(プレイヤー発言) B-2ですかね
クライ:(プレイヤー発言) ですね
マキ:(プレイヤー発言) です
GM:「じゃあ地図作成判定—」
クロ:2D6+5 合計:9 <2,2>+5
リン:2D6+2 合計:11 <5,4>+2
リン:「できたー…自信作—」
クロ:「今回もダメでした」
ジモンズH:2D6+5 合計:9 <3,1>+5
マキ:2D6 合計:3 <1,2>
クライ:2D6 合計:8 <5,3>
リン:(プレイヤー発言) きりぎりだー。
ジモンズH:(プレイヤー発言) よかった
GM:「じゃあJJ…時間おしてるんで先に言っつねww何も無いww」
クロ:(プレイヤー発言) 危なかった
クロ:(プレイヤー発言) ぶっちゃけた、www
リン:(プレイヤー発言) たんち…何だよ。
クライ:(プレイヤー発言) ㄹ
マキ:(プレイヤー発言) www
GM:「ただ、JJからだんだん霧が出てきます。」
GM:「具体的には暗視あっても-2」
GM:「さらに夜になるので暗視ない人は-4。合計-6」
リン:「何だか顔のある星が逃げてる…」
クライ:(プレイヤー発言) うく
クロ:「それは幽霊です」
リン:(プレイヤー発言) ーとか地図作れる気がしない
GM:「まあ、暗闇は明かりあれば平気ですが、霧はどっしりようもない。」
クロ:(プレイヤー発言) ジョッシュさんに任せるしかない
ジモンズH:(プレイヤー発言) ううん、うまくいくといいけど

7. アカダケの下には魔動機械

ジモンズH:まあ、B3いきましよつか

GM:では地図作成よっぞ

クロ:2D6+5 合計:14 <3,6>+5

ジモンズH:2D6+3 合計:15 <6,6>+3

リン:2D6-4 合計:2 <4,2>-4

ジモンズH:お、大丈夫でしたね。

GM:おお。じゃあ進むと…刺激臭。

クロ:(プレイヤー発言) でしたね ww

マキ:(プレイヤー発言) キター

クロ:(プレイヤー発言) 最後の一個ですね

クライ:「J」の臭いは…」

GM:苔むした小山にアカダケが生えてる

リン:「青酸カリだ…」

クロ:(プレイヤー発言) なんか怖い

ジモンズH:回収できそうですか？

GM:<ジモンズH 近づいてみる？

ジモンズH:まずは危険感知か探索してみたいですが

GM:ち。じゃあ全員危険感知どぞ。

クライ:(プレイヤー発言) 舌打ちw

GM:言わなきゃ気づかないようにしようと思ってたのww

リン:(プレイヤー発言) 下から牙のあるお花がですね

ジモンズH:2D6+5 合計:10 <2,3>+5

クロ:(プレイヤー発言) 嫌な予感

クライ:2D6 合計:6 <2,4>

クロ:2D6 合計:8 <6,2>

マキ:2D6 合計:11 <5,6>

リン:(プレイヤー発言) ぞー6c.

GM:明かりないよね？暗視もちはる、それ以外は6

ジモンズH:なるほど、トランプだったか

クロ:(プレイヤー発言) うわ〜ww

リン:2D6-4 合計:2 <3,3>-4

ジモンズH:ライトつけておけばよかったかな

クライ:(プレイヤー発言) 0ですしww

クロ:(プレイヤー発言) 自分2です

GM:マキもジモンズHは気づいた

ジモンズH:おお

GM:地面が「J」…と盛り上がってく

ジモンズH:「…なんですかね、あれ？」

マキ:「地面が？」

クロ:「これは一体」

GM:小山の一部「ブン…」と灯がともし…そびえる大きな魔動機械！

クライ:「おお？」

マキ:「機械とな」

GM:とごうわけで魔物知識判定よろしくセージ技能レベル+知力B+2D

リン:(プレイヤー発言) ぴゃー…

シモン:2D6+5 合計:13 <4,4>+5

リン:2D6 合計:4 <3,1>

マキ:2D6+2 合計:10 <3,5>+2

クロ:2D6+5 合計:9 <3,1>+5

クライ:2D6 合計:5 <3,2>

リン:「暴れヘルドゥームだー……」

シモン:「だからどうして」の危険なものを…」

マキ:「それ小神レベル…」

マキ:(プレイヤー発言) カッコイイ登場ですなw

クロ:(プレイヤー発言) 変転しますか？

GM:弱点は抜けなかったか。ドゥームです。

クロ:「なぜ、こんな山のなか」

GM:へクロ 変転したら弱点抜けるよ

クロ:(プレイヤー発言) 変転しましょう。この後特に重要な判定もないでしょうし。

GM:へクロ OKじゃあ、弱点も抜けた

シモン:「相手にせず、キノ」をゲットして上げたほうがいいですかね？」

GM:へシモン 残念ながら、ドゥームの頭の上ですw

GM:ただ、このドゥーム、だいぶ朽ちてる。長い間放置されて、苔むしたくらいなんで。

クロ:(プレイヤー発言) 松明つけます。

GM:どれくらいくちてるかってーと、2部位ともHP半分ですw

GM:明かりはクロね？じゃあ、ラストバトル行ってみよーか

リン:「Jのオンボロめー…おーばけやー」

シモン:「まずは先制かな

クライ:「解体してやらあ……」

シモン:「しかし面倒な敵がきたものです」

GM:は、先制判定どうぞ。Jちらほら

シモン:2D6+4 合計:12 <3,5>+4

リン:2D6 合計:9 <4,5>

シモン:大丈夫でしたわ

クライ:2D6 合計:6 <2,4>

クロ:2D6 合計:7 <6,1>

GM:そちのぶに

クロ:「まず、松明をつけます。」

クライ:(プレイヤー発言) 次に服を脱ぎます

マキ:(プレイヤー発言) そして踊ります

クロ:(プレイヤー発言) なぜ…?

セッション時間のびて、みんなハイになっている?

シモン：ではスパークいきましょっか

GM：了解。判定ごっげ

シモン：2D6+5 合計：16 <6,5>+5

シモン：これはぬけましたね

GM：はいな。ダメージ…

シモン：「雷光」

シモン：ROC10+5 合計：6 <4,2> = <1>+5

シモン：ROC10+5 合計：12 <6,5|[4,5]> = <4,3>+5

シモン：6点と5点の雷ダメージです(弱点込み)

クライ：(プレイヤー発言) 回ったー

リン：(プレイヤー発言) 主砲終了のお知らせ

GM：おおおおお、砲塔があああああああ。(砲塔死亡)

シモン：「かなりうまくコントロールできたようですね」

クロ：(プレイヤー発言) じいさんのために出てきたの？

GM：<クロ ホントは前座の予定だったのっ…

クロ：(プレイヤー発言) ボスはアンデッドでしたか

GM：<クロ うん。

GM：もうちょうつと戦えるはず…

シモン：(プレイヤー発言) グールメイジより強いのか

GM：<シモン シュ 2 部位だから魔法ダメージだからー

GM：<シモン シュ そう思っていた時期が俺にもありましたー

リン：(プレイヤー発言) 悲しいけど、これがボス戦なのよね。

リン：「よっげきー…」

クライ：「やちちまえー」

GM：こぎは前衛ズ…?

クロ：(プレイヤー発言) このタイプのフィールドはしょうがないですかね？

リン：(プレイヤー発言) 翼おーん…びーとる…

GM：霧で命中に2をお忘れなく

GM：びばむのぞろちのほー4

リン：(プレイヤー発言) そおい…

リン：2D6+3 合計：10 <3,4>+3

リン：(プレイヤー発言) ですよねー

GM：避けたよーやったよー

GM：次はっ

クライ：(プレイヤー発言) 命中6ゾロ出さないとダメじゃないですかーやだー

GM：かもーん…

クライ：(プレイヤー発言) っつてみます

クライ：2D6+2 合計：4 <1,1>+2

クライ：(プレイヤー発言) 逆ゾロZZZZ

シモン：ひっくりかえせばあたるっ

クライ：あ ほんどだ

リン：(プレイヤー発言) 変転きつちやえよ…

クロ：(プレイヤー発言) っつちやえ

マキ:(プレイヤー発言) いけー

GM:ラストバトルですしね

クライ:(プレイヤー発言) 運命変転しちゃえー

GM:ではダメージー!

リン:(プレイヤー発言) (防護点6ダメージ)

クライ:(プレイヤー発言) あ、マッスルベアーします

クライ:で2回蹴りで

クライ:R20C10+9 合計:10 <[1,2]>=<1>+9

リン:(プレイヤー発言) まだ一回も一発も出していないなあ。

GM:2回目ももう一度命中判定ですよ

リン:(プレイヤー発言) うむす。

クライ:(プレイヤー発言) そうだった 眠気だいたい判断力がw

クライ:2D6+2 合計:10 <2,6>+2

GM:よけたー!

クライ:(プレイヤー発言) わーん orz

GM:では後衛ズー!

マキ:(プレイヤー発言) やるぞー!

ジコハン:あたれば勝ちですかねえ

クライ:「撃ち抜けー!」

マキ:ソリバー! タゲサー! キャッツアイ!

マキ:「狙い打ちー!」

マキ:2D6+5 合計:15 <5,5>+5

GM:へマキ あたったー!

マキ:R20C10+9 合計:15 <[3,5]>=<6>+9

クロ:(プレイヤー発言) 当たった

クライ:(プレイヤー発言) おおお

GM:ずもろっ…:…ん(ドウム撃沈)

ジコハン:おお

クロ:(プレイヤー発言) おお

マキ:「やったかー?」

GM:へマキ あ、その発言したら起き上がりましょうかwww

マキ:(プレイヤー発言) やめて www

マキ:(プレイヤー発言) ずうん…:…ムクリ www

リン:(プレイヤー発言) 終わってたー?

クロ:(プレイヤー発言) キャンセル

GM:嘘です。完全に破壊されましたwww

クライ:(プレイヤー発言) w

ジコハン:「よかった、これで回収できますね」

GM:どうっわけでアカダケもゲットです

ジコハン:「これでジコハンクリア

マキ:「これで万事オッケーだわ」

リン:「ジャーむのびひんー!」

クロ:「なんと往復3日で終了」

GM: <リン> はうはう。剥ぎ取りごっこぞ
リン: 2D6 合計: 7 <1,6>
シモン: (プレイヤー発言) すいません、さすがに限界なので私はここまでで…
マキ: (プレイヤー発言) お疲れさまです
リン: 「古すぎてためだー」
シモン: (プレイヤー発言) お先に失礼します
GM: <シモン> シモン「めんね。後ほど経験点とかはメールします
シモン: <GM> うんこす
クライ: (プレイヤー発言) おつかれさまです、ありがとうございます！
クロ: (プレイヤー発言) お疲れ様でした。お休みなさい
※「リブ」シモンのプレイヤーが退室。
GM: 鉄だけですわ。
マキ: (プレイヤー発言) まさか探索一日目で終わりとは

8. 結局、1日で終わっちゃった

GM: では、ここは森の入り口にもかなり近いので、そのまま出られますね。
クライ: (プレイヤー発言) 馬とは何だったのか？
GM: <クライ> 一応の策だったんですが、まさかの1日踏破www
リン: (プレイヤー発言) 強行軍だったようです
GM: <マキ> ヒットマン強すぎwww
クロ: (プレイヤー発言) マキ13ですね
GM: では、馬をゆつくり歩かせてシグノの街に戻りますw
リン: (プレイヤー発言) やはりまだまだ…: 防護点が足りない…
クライ: (プレイヤー発言) ゴルゴw
GM: とどうわけで、《黒の切り札亭》です。
GM: フォリッジ「おお、帰ったか…」
クロ: 「只今戻りました」
リン: 「アタシの凱旋だー！」
クライ: 「よー、また会ったな親父」
GM: フォリッジ「4日びったりだな。①の依頼にしたのか」
クロ: 「また、一人迷子になりましたが」
GM: <クロ> フォリッジ「ああ、シモンはそついうやつだからな。またひょっこり顔見せに来るわ」
マキ: 「ただいまー、エールくださいー」
GM: <マキ> ウェイトレスのクリス「はい、マキちゃん(エールごとり)」
クライ: 「②だ。」
リン: 「アタシはプロだよってーぜん②に決まってるじゃないのわー」
GM: <リン> <クライ> 「え？」フォリッジさん目を白黒w
リン: (プレイヤー発言) 迷子でエンディング不参加に違和感を感じない…: だと？
クライ: (プレイヤー発言) なんとという伏線回収w
マキ: (プレイヤー発言) あの設定はこれを見越しての「マキ…

いやほんと、ジヨツシユがいなくてもエンディングに支障ないとはw

リン:「グールメイジとの死闘…ゾンビの群れの来襲…ドウムとの激戦…!アタシ達にかかればあつという間さ…」

クロ:「とりあえず、ヘンドリクさんのとこに渡しに行きましょう」

GM:「クロ フォリッジ」ああ、それは「うちでやつとくせ」

クロ:「ではお願いします」

GM:「フォリッジ」とにかく「苦労だった！今日は飲め！わしのお」リリじゃ」

クロ:「いただきます」

クライ:「よっしゃ！ 遠慮なく飲ませてもらっせー」

GM:「クライ フォリッジ」おう、たんといけ、たんとい…」

リン:「そーだ！クリスちゃんにお土産ー！ヴァルチャーのたまー」

GM:「リン クリス」わあ、ありがとー」

クロ:「持ってきてたんだ。卵」

リン:「降りた時にかばんに入ってたんだ！さっき気づいた！」

マキ:「遠慮なくするのはかまわんが、別にエールの在庫を無くしてしまってもいいのらう？」

リン:「久しぶりの」はんだー」

GM:「リン」お前はまず「れな、リルドラケン定食w」

クロ:「なんとまあ。」

リン:「うわーいー」

GM:「マキ フォリッジ」お前はど「ぞそのアーチャーかw」

GM:「ではエンディング。」

クロ:「実際、シューターですしね」

GM:「w」

マキ:「今回は「ル」とまでいwashめましたよ！猿渡さん！」

GM:「ううして、黒の切り札亭に、また一つ新たな冒険譚が増えることとなった。

GM:「その晩、夜遅くまでにぎわう声がやむ」とはなかったという

ちなみにこのあと、マキが剣の欠片2つを名誉点に変えたところ

マキ:「6ゾロー」

一回:「すげえー」

マキ:「3の異名が定着して畏れられましたw」

オマケ:「リンの書いた探索メモ。」

A-4 密振り。

A-3 密振り。

A-2 何か刺激臭。湖があつてウンディーネがいたよ！ 円盤の謎を解いたらアオバナがもらえたよ！ウンディーネさんまたあおうね！

A-1 救命草があつたよ！また後で探しにこよう！

B-1 魔香草があつたよ！いいところだった！

C-1 洞窟があるよ！すごく臭い！なんかアンデッドがいてミドリイシもあつたよ！

ぞんびがいつばいきたー！超びーんち！総員てつたーい！

C-2 がけだ！断崖絶壁！鳥の巣があつてなんだかおいしそう！

けど我々は急いでいるのだ！ぞんびに追われてたし。

B-2 濃霧注意報

B-3 すごく臭い。地面がすごいとこー！